

1. 計画策定の趣旨

令和2年3月に策定した第2次南砺市総合計画では「南砺まちづくりビジョン」として、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間で目指すべきまちの将来像を「誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ」と掲げ、また南砺市人口ビジョンにおいて2060年の将来目標人口を30,000人を目指すと掲げました。

令和6年度に「前期まちづくりプラン」の計画期間が終えるにあたり、令和7年度以降の5年間で取り組むべき基本的な政策・施策を示した「後期南砺まちづくりプラン」の検討及び将来目標人口の見直しを行い、改定版としてとりまとめました。

2. 計画の概要

(1) 計画期間

令和7年4月から令和12年3月までの5年間の計画期間とします。

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
まちづくり ビジョン	将来像・目指すべきまちの姿（10年間）									
まちづくり プラン	前期プラン（5年間）					後期プラン（5年間）				

(2) 策定の考え方

① 人口減少対策を重点に置いたプラン

市の最大の課題であり、厳しい状況が続くと予想される「人口減少」に立ち向かうため、人口減少対策に重点を置いたプランにします。

市では、歯止めがかからない人口減少に対応するため、令和5年度に市内に「人口戦略検討プロジェクトチーム」を発足し、国の動向や市の課題の共有などを行ってきました。プロジェクトチームでの検討事項を後期まちづくりプランに反映させます。

② 市政を取り巻く社会潮流、新しい社会の流れへの対応

こどもまんなか社会の実現、交通手段の多様化、プレイヤーパーク事業との連携といった新たな社会の変化などに対応した計画とします。

③ 若者に選ばれるまちづくりの推進

人口減少の中でも特に、若者の転出が多いことから、寛容性の醸成やジェンダーギャップの解消、高校生と地域の結びつきの強化を図るなど、若者に住む場所として選ばれるためのまちづくりを推進します。

3. 主な変更点

(1) 後期まちづくりプラン5年間の重点事項の追加（計画書8ページ）

「若者が未来に希望が持てるまち」を目指すため、後期まちづくりプランでは、本市の最大の課題である「人口減少」に立ち向い、住み続けられる場所や活躍する場として若者に選ばれるまちを目指すことで、将来に希望のある地域となるよう取り組みます。

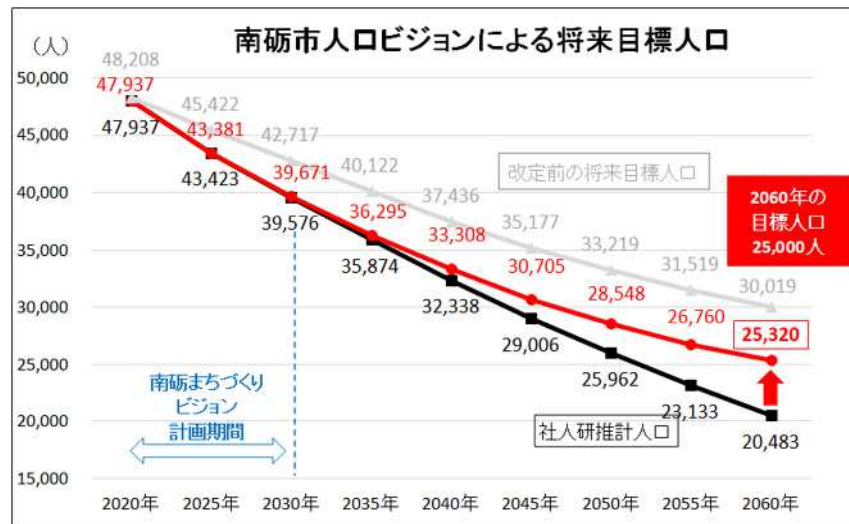
(2) 将来目標人口の見直し

- ①2020 年に策定した人口ビジョンの目標人口 2060 年 30,000 人
- ②2023 年に公表された社人研推計人口推計 2060 年 20,483 人
- ③今回の見直しによる目標人口 2060 年 25,000 人

・将来推計人口の見直しのポイント

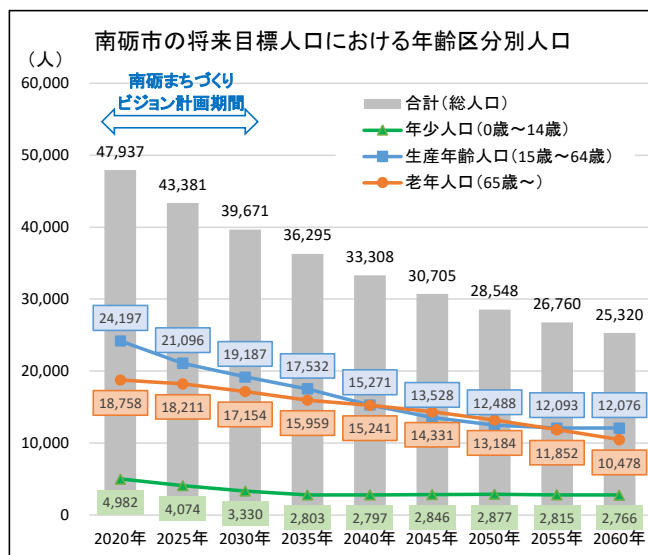
社会動態：プレイヤーパークの開業や企業誘致など若者の U I J ターンや移住の促進に加え、「充実した子育て環境の提供」「移住先としての高い評価」など、本市の強みを活かした施策の推進に取り組む。

自然動態：将来における年間出生数を 160 人程度で維持する。



※社人研推計人口：2023 年 12 月に国立社会保障・人口問題研究所から公表されたもの

※2055 年、2060 年は社人研推計人口に基づく市の独自推計



※年齢区分別人口の合計と総人口は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。



(3) 政策・施策の追加・修正（計画書26ページ）

政策（後期プランでの変更点：赤字）	施策（後期プランでの新たな事項）
未来に希望がもてるまち	
①妊娠・出産・子育て支援	こどもの権利の推進、こどもの多様な居場所、子育てネットワークづくり、男性の育児参画、社会全体の「共育で」の推進、幼児期からのプレコンセプションケアの推進
②未来に夢と希望を持てる教育環境の充実	地域を基盤とした特色ある小中一貫教育等 持続可能なスポーツ・文化活動の体制づくり
③若者のパートナー・仲間づくりを応援	仲間との出会いと交流の場の創出 若者の結婚・出産・子育てに対する理解と意識の向上
多様な幸せを実感できるまち	
①心身ともに健康で暮らしやすい社会づくり	運動・スポーツの習慣化の促進
②地域とともに取り組む医療・福祉の充実	医療、介護及び福祉分野の担い手の確保及び育成 相談支援、参加支援及び地域づくり支援活動の推進
③誰もが活躍できる寛容な社会づくり	多様な居場所づくり、地域で誰もが自由に発信・発言できる環境の醸成、外国人児童生徒及びその保護者などに対する相談機能や情報発信の強化
心豊かな暮らしができるまち	
①若者に選ばれる魅力あふれる地域づくり	若者の活躍の場、居場所づくりの推進 就学時からの地元回帰意識の醸成 U I J ターンに向けた「きっかけ」づくり
②誰もが暮らしを楽しめる生活環境の充実	城端線再構築等による公共交通の利便性向上 D X の活用による生活の利便性向上
③地域の活力を支える産業の発展	市内企業の定着・地域特色を活かした企業誘致の促進、観光資源の魅力向上と、それらを活用したまちづくりの推進、地域の存続を目的とした農業支援と地場産品の魅力を引き出すブランディング
皆で考えともに行動するまち	
①南砺の暮らしへの誇り・愛着の醸成	南砺市の魅力の再発見と発信 文化芸術活動の担い手育成
②みんなが参加しともに取り組むまちづくり	二地域居住の推進 地域で支えあって移動できる仕組みづくり
③内外に向けた効果的な魅力の発信	内外へ向けての統一的・効果的なシティプロモーションの推進、情報共有基盤の集約、強化

第2次南砺市総合計画

(改定版)

2025年3月

南砺市

目 次

第1章 計画の概要.....	1
第2章 将来像と目指すべきまちの姿.....	5
1. 将来像.....	5
2. 目指すべきまちの姿.....	6
3. 今後5年間で重点的に取り組むこと.....	8
4. 人口ビジョン.....	9
第3章 南砺市の現状と課題.....	11
1. 時代の潮流と本市における取組状況.....	11
2. 本市を取り巻く状況と課題.....	16
第4章 施策の体系.....	26
1. 施策の体系.....	26
2. 時代の潮流に即した全分野へ横断的に関わる5つの観点.....	27
第5章 南砺まちづくりプラン.....	28
1. 未来に希望がもてるまち.....	28
2. 多様な幸せを実感できるまち.....	31
3. 心豊かな暮らしができるまち.....	34
4. 皆で考えともに行動するまち.....	37

第1章 計画の概要

(1) 計画改定の趣旨

本市では、2007年3月に南砺市総合計画を策定し、これまで、それぞれの地域において培われた個性や役割を尊重しながら、本市の均衡ある発展や一体感の醸成が進むよう各種施策に取り組んできました。

策定以後、急激な人口減少や少子高齢化の進行や全国的に多発する自然災害の発生など、大きな時代の変化や本市を取り巻く環境の変化に加え、まちづくりにおける多様な主体との協働が欠かせないことや、PDCAサイクルなど政策評価への意識の高まりといった社会状況の変化も踏まえ、2020年3月には新たな目標を明確にするために、「第2次南砺市総合計画（以下「本計画」という。）」を策定し、現在も様々な取組が進められています。

2025年3月には本計画の前期5年間を終えたことから、2024年度に本計画の中間見直しを行い、新たに「改定版」としてとりまとめました。

今回の改定では、前期計画を進めている中で発生した新型コロナウイルスの世界的な流行による生活様式や価値観等の変化のほか、DXの活用やこどもまんなか社会の実現、ジェンダーギャップの解消等の時代の潮流の変化に対応した総合計画に見直しました。

(2) 計画の位置づけ及び構成

南砺市まちづくり基本条例に規定する「まちづくりの主体は市民であること」を踏まえ、市民と行政とが共有できる市の将来像や目標を「南砺まちづくりビジョン（以下「ビジョン」という。）」と位置づけます。

また、ビジョンを実現するために重点的に取り組む政策や施策を「南砺まちづくりプラン（以下「プラン」という。）」と位置づけます。

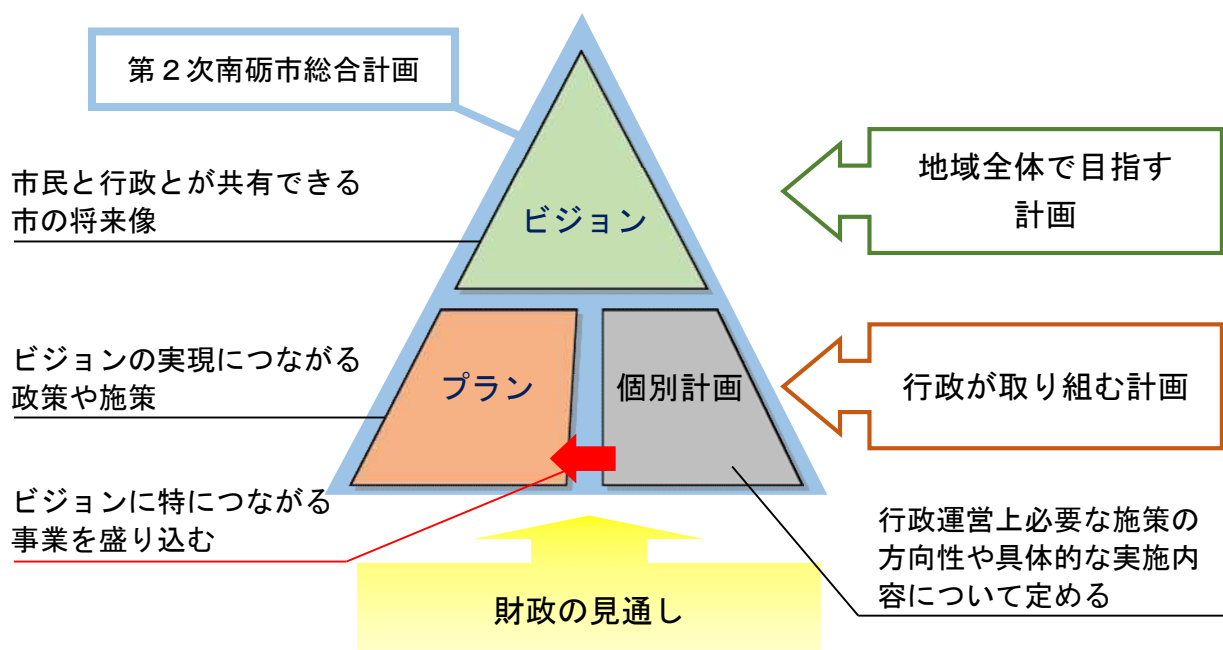
なお、プランに含まれていませんが行政の役割として欠かすことのできない施策等については、個別計画に基づき実施することとし、それらを合わせた総予算の計画的管理・実施については、財政の見通しを立てて取り組みます。

(3) 個別計画との関係

本計画で位置づけるプランは、本市が実施する施策の中で特にビジョンの実現に重要な施策を集約したものであり、その他の行政運営上で通常必要とされる施策の方向性や具体的な実施内容については、個別計画に基づき実施することとします。

また、各個別計画においても、本計画のビジョンを踏まえ、整合性を図るとともに、プランとあわせ総合的に実施・推進していくことで、ビジョンの実現を目指します。

【第2次南砺市総合計画の構成と個別計画との関係性イメージ】



○主な個別計画一覧

■総合政策部

政策推進課
南砺市地域公共交通計画
南砺市過疎地域持続的発展計画
情報政策課
南砺市DX推進計画
エコビレッジ推進課
南砺市環境基本計画
南砺市エコビレッジ構想
南砺市地球温暖化対策実行計画
南砺市SDGs未来都市計画
こども課
南砺市こども計画

■総務部

総務課
南砺市地域防災計画
南砺市定員適正化計画
南砺市国土強靱化地域計画
行革・施設管理課
南砺市行政改革大綱
南砺市公共施設再編計画

■市民協働部

生活環境課
一般廃棄物処理実施計画
南砺で暮らしません課
南砺市空家等対策計画
南砺市男女共同参画推進プラン
南砺市公営住宅等長寿命化計画
南砺市住まい・まちづくり計画
南砺市耐震改修促進計画

■ブランド戦略部

農政課
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
南砺農業振興地域整備計画
南砺市食育推進計画
南砺市山村振興計画
森林・農地整備課
南砺市森林整備計画（南砺市森づくりプラン）
南砺市鳥獣被害防止計画
南砺市田園環境プラン
商工業立地課
南砺市企業立地戦略
交流観光まちづくり課
南砺市交流観光まちづくりプラン
文化世界遺産課
南砺市文化芸術振興基本計画
南砺市文化芸術振興実施計画
南砺市世界遺産マスタープラン
南砺市文化財保存活用地域計画

■教育部

教育総務課
南砺市教育振興基本計画
南砺市いじめ防止基本方針
生涯学習スポーツ課
南砺市スポーツ推進計画
中央図書館
南砺市子ども読書活動推進計画

■ふるさと整備部

道路整備課
南砺市都市計画マスタープラン
南砺市道路整備5箇年計画
建設維持課
南砺市道路施設維持修繕5箇年計画
南砺市消融雪施設整備5箇年計画
上下水道課
南砺市新水道ビジョン
南砺市下水道ビジョン
南砺市水道事業経営戦略
南砺市下水道事業経営戦略

■地域包括医療ケア部

医療課
南砺市病院事業将来ビジョン
南砺市立病院経営強化プラン
地域包括ケア課
南砺市高齢者保健福祉計画
福祉課
南砺市地域福祉計画
南砺市障がい者計画
南砺市障がい福祉計画
健康課
南砺市民健康プラン
南砺市地域支えあいのちを守る自殺対策計画

(4) 市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

総合戦略は、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけ、住みよい、活力ある地域を維持していくため、夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進することとし、目標や施策に関する基本的な方針をとりまとめた計画であり、本市が2015年10月に策定した「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略（以下「南砺市総合戦略」という。）」は、対象期間が2020年3月までとなっています。

これまで、第1次南砺市総合計画が人口目標を掲げて取り組んできたこと、本市の総合的な地域振興や発展を目指すうえで、総合戦略の目的である人口減少や少子高齢化に対応したまちづくりの観点は最も重要であること、また、総合戦略において実施してきたPDCAサイクル等は、計画の進捗管理においても有効であること等が明白となっています。このため、本計画では、南砺市総合戦略を引き継ぎ、2020年4月からの第2期市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の南砺市版として位置づけることとします。

(5) 計画の期間

本計画におけるビジョンの対象期間は、2020年4月から2030年3月までの10年間とします。また、プランの対象期間は、2025年3月で前期計画を終えたことから、6年目となる2025年4月から10年目となる2030年3月までを後期計画とします。

年度		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
経過年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
第2次南砺市総合計画	南砺まちづくりビジョン	10年									
	南砺まちづくりプラン	前期5年					後期5年				
							●中間見直し				
	プランに基づく事業	3年			3年			3年			
		3年		3年		3年		3年		3年	

なお、プランに基づく事業は3年間の見通しをたて、毎年度評価、検証により見直すこととします。

(6) 推進・検証体制

本計画は、市民や議会をはじめ、産業、行政、大学、金融、労働、メディアなど、幅広い各層の意見を踏まえ策定するものです。

同時に、施策の効果を検証し、改善を図っていくために、次のとおり、PDCAサイクルと、推進・検証のできる体制の構築を図ります。

① PDCAサイクルの構築

本計画においては、10年間のまちづくりのゴールとして「数値目標」を掲げています。また、目標を達成するために必要な課題等に対応した「重要業績評価指標（KPI）」を設定するとともに、実施事業にも進捗を図る指標を設定します。これにより、事業の進捗とKPIの動向を比較することで効果を検証し、事業内容や実施の有無へ反映させる仕組みを構築します。

② 庁内推進体制

市長を本部長とする「南砺市総合計画推進本部」において、横断的に情報共有や事業の検討を行いながら、事業の着実に効果的な実施に取り組みます。

③ 検証体制

本計画では、産官学金労言及び市民等で構成する検証機関を組織し、本計画の推進に当たっての意見聴取のほか、本計画の達成度の検証を実施し、広く公表します。

第2章 将来像と目指すべきまちの姿

1. 将来像

誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ

田園が湖面のごとくきらめく春、熱い鼓動に包まれる夏、哀愁の調べが彩る実りの秋、一面の雪景色に温もりが感じられる冬と、南砺市では、四季を通じて人と自然が調和し、悠久の時間が流れています。

わたしたちの南砺市には、豊かな自然の恵みをいただき、大自然に感謝する心や相手を思いやる「お互い様」の気質といった独自の精神がずっと息づいています。世界が認める合掌造り集落をはじめ、散居景観や伝統芸能、祭、食、ものづくり産業など、かけがえのない財産が数多く育まれています。

また、南砺市で暮らす人々は、奥ゆかしく、温かみがあり、忍耐強く、何事にも意欲に富んでおり、ここに生きる人そのものが、未来へとつないでいかなければならない私たちのかけがえのない財産です。

その一方で、少子高齢化や社会環境の変化など、南砺市を取り巻く様々なことが変わりつつあるなか、これらの財産を後世へと継承していくためには、市民一人ひとりの強い思いとたゆまぬ努力により、積極的に守り育てていくことが不可欠です。特に、自然との共生や環境への意識が高まるなかで、人と人、人と自然の関係を見つめ直し、地域資源を最大限に活用した循環型社会を構築する重要性は増すばかりです。

さらに、情報通信や人工知能（AI）などの技術進歩により、働き方や生き方、価値観などは大きく変わろうとしています。今の暮らしをより快適にしたい、場所を選ばず仕事がしたい、住むところを自分のスタイルで選びたいといった、人それぞれが求める多様な幸せのカタチを実現できる社会を築いていかなければなりません。

このような社会の流れのなかで本市が目指すのは、ここに暮らす人が多様な価値観を互いに認め合い、それぞれが幸せを感じ、「生まれてきてよかった」「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちであり、同時に市外の人に「ともに育ちたい」「住みたい」「つながりたい」場所として選ばれるまちです。

これからの10年間は、目指す将来像に向かい市民一丸となって、覚悟をもって取り組まなければならない極めて大切な時期です。自然や伝統、文化といった世界に誇れる財産を活かし、市民一人ひとりが互いに認め、支え合いながら行動していくことが必要です。「南砺」に暮らす私たちが、この土地の豊かさや暮らしに感謝と誇りをもち、互いを信頼し、誰ひとり取り残さない地域社会である「一流の田舎」を目指し、次代を担うこどもたちが笑顔で暮らし続けられるまちを実現します。

2. 目指すべきまちの姿

未来に希望がもてるまち

こどもは家族にとって大切な宝であり、こどもが未来に夢や希望をもち、その実現に向かって成長していく姿は、家族だけでなく地域にとっても大きな希望となります。

そのため、南砺のこどもまんなか社会の実現を目指し、妊娠・出産・子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援につとめるとともに、こどもたちへの教育や子育て環境は、学校だけでなく地域及び家庭がそれぞれの役割を認識し、相互に連携することで、まち全体でこどもたちの健やかな育ちを支える体制を整えます。

また、気の合う仲間づくりやパートナーとの出会いの機会を提供し、若者が思い描くライフデザインの実現を応援することで、南砺に住んで家庭を持ちたい、子育てしたいと思う若者を増やし、若者やこどもたちが「南砺で生まれてよかった、育ってよかった」と思える希望に満ちあふれるまちづくりを進めます。

多様な幸せを実感できるまち

現代における「幸せ」とは、経済的な豊かさだけでなく、価値観の変化や生き方の多様化といった点も要因の一つになると考えられています。また、「健康」も心身だけでなく、社会的な面においても満たされた状態であることが「well-being（ウェルビーイング）」という考え方として、国内外で広く使われており、分野を問わず重要な視点として注目されています。

そのため、本市においても、互いに尊重し合い、人と人がつながり、支え合いながら安心とやすらぎを感じて暮らしていくことができる環境を整え、行政と地域がともに連携し、福祉や医療のさらなる充実を図ります。

また、年齢や性別、国籍などにとらわれない多様な生き方や考え方などを受け入れ、個性を認め合い、寛容性の高い社会の構築を図ることで、多様な幸せがあふれるまちづくりを進めます。

心豊かな暮らしができるまち

市民が、豊かな自然や人のつながりのなかで南砺の暮らしを楽しみ、また、若者に南砺で住み続けてもらうためには、安定した魅力あふれる生活環境を整える必要があります。そのため、特に若者に対しては、ワーク・ライフ・バランスの実現と多様な働き方、やりがいのある働く場の創出、住まいへの支援を図ります。

また、誰もが移動しやすい公共交通といった社会基盤の充実をはじめ、地域活力を支える産業の振興や後継者の育成に取り組むことで、移住人口の増加や定住人口の維持につなげ、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

皆で考えともに行動するまち

まちづくりは、そこに暮らす市民一人ひとりの地域を想う心や、相互の支え合いによって取り組まれています。

そのため、若者や女性をはじめ、移住者など年齢・性別を問わず南砺の暮らしへの愛着や誇りを醸成し、大人が社会で様々なことに挑戦し南砺の暮らしを楽しむ姿を見せることで、こどもたちの様々なことにチャレンジする意欲を高め、グローバルに活躍する人材や将来の南砺を担う人材の育成を図ります。さらに、地域の担い手不足を補完するため、二地域居住を推進し、本市への人の流れの創出・拡大に取り組みます。

また、地域資源（人、歴史、文化、施設など）の情報を市内外に向けて効果的に発信し、多くの人が南砺の魅力に触れる機会をつくることで、まちづくりにともに取り組む仲間づくりを進めます。

3. 今後5年間で重点的に取り組むこと

若者が未来に希望が持てるまちを目指す

後期まちづくりプランでは、本市の最大の課題である「人口減少」に立ち向うため、住み続けられる場所や活躍する場として、若者に選ばれるまちを目指すことで、将来に希望のある地域となるよう、今後5年間に於いて、以下の項目に重点的に取り組むこととします。

重点項目（後期まちづくりプランでの取組）

（1）南砺での暮らしが若者に選ばれるために

- ① 仲間を増やし、結びつきを生み出す交流の機会の創出
あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（A I P 4 8）事業、異業種交流事業など
- ② 若者に選ばれる企業の育成・誘致の促進やプレイアースパーク事業などとの連携
企業立地奨励事業、桜ヶ池周辺活性化事業など
- ③ 移住・定住に向けて若者の希望に合う居住環境の整備
民間賃貸住宅居住補助金制度、民間賃貸住宅建設補助金制度、移住・定住推進事業など
- ④ 共働き・子育てができる社会の実現
子育て・親育ち応援事業、女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業など

（2）若者がいきいきと活躍するために

- ① 自分のスキルを生かし、やりたいことの自己実現への支援
起業家育成支援事業、空き家・空き店舗利用促進事業、なんと未来創造塾開催事業など
- ② 多様な学びの環境を整備し、南砺に住みながら活躍できるグローバル人材を育成
ふるさと教育推進事業、地域未来留学事業、旧福光高校活用事業、グローバル人材育成事業など
- ③ 二地域居住に向けた環境の整備
二地域居住支援事業、移住・定住推進事業など
- ④ 若者や女性の意見を積極的に受け入れ、多様な視点を取り入れる社会の実現
若者ネットワーク事業、女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業など

（3）若者が住み続けるまちの実現のために

- ① 誰もが移動しやすい交通体系の実現
公共交通網の最適化、地域の支え合いによる移動サービス事業など
- ② 様々な人がつながりあえるまちづくりの推進
重層的支援事業、ともいきカフェ事業、南砺と繋がるコミュニティ形成事業など
- ③ ジェンダーギャップの解消や寛容性の醸成
女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業など
- ④ 日常生活をワクワクしながら楽しめるまちづくりの推進
観光誘客推進に向けた広域連携事業、桜ヶ池周辺活性化事業など

これらを実現するため、若者・子育て世代をはじめとした全ての市民、移住者や関係人口などの多様な主体の意見を積極的に聴取し、また参画を促すことで、柔軟に施策の改善に反映できる仕組みを構築します。

4. 人口ビジョン

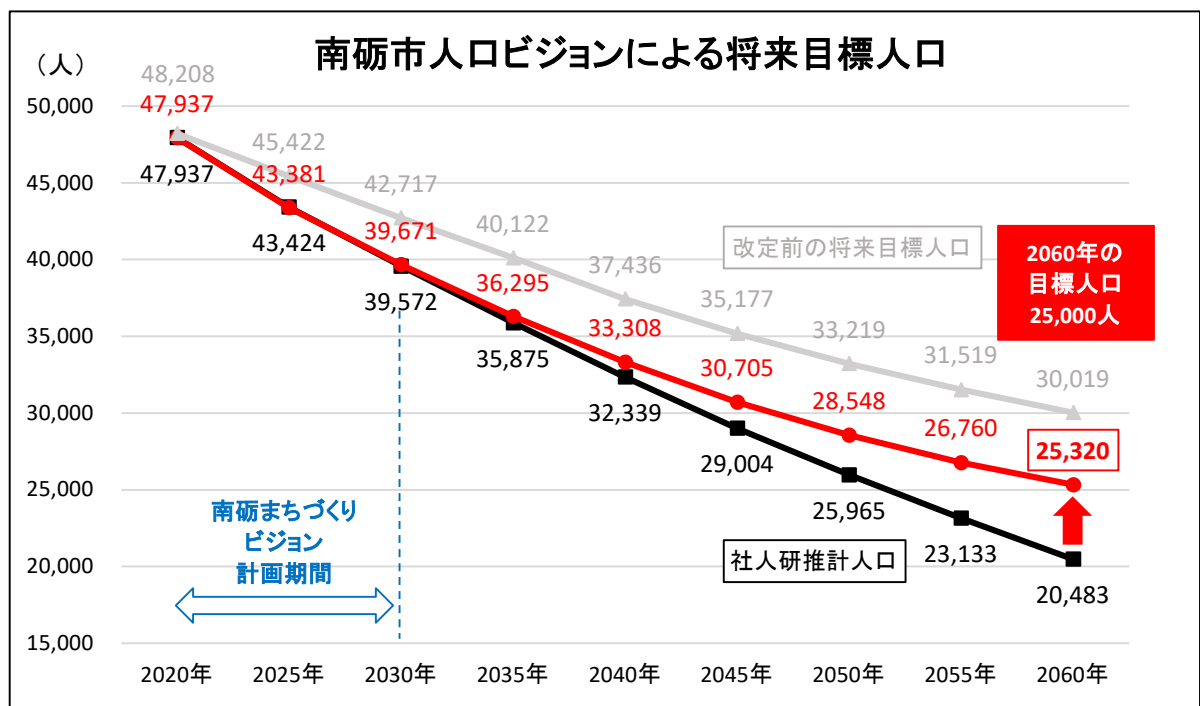
(1) 南砺市人口ビジョンにおける将来目標人口

2015年及び2020年に策定した南砺市人口ビジョンの目標人口は、2060年に30,000人とし、その目標達成のために、「合計特殊出生率の向上」と「社会動態の改善（転入者数の増加、転出者数の抑制）」を重点に各種施策に取り組んできました。

その結果、一定の転入者数は維持されているものの、転出者数の抑制に歯止めがかからず、2020年の人口は47,937人となり、目標であった48,028人を下回っています。

また、2020年の人口を基準として2023年に公表された社人研推計人口（※）に基づく推計では、2060年の人口は20,483人になると推計され、当初の目標であった30,000人から約1万人減少しており、前回（2020年）の人口ビジョン策定時よりもさらに厳しい状況になると見込まれています。

全国的にも、出生数の低迷や首都圏を中心とした都市部への人口の集中により、本市の人口動態においても厳しい状況が続いていますが、社会動態の面では、若者のU I Jターンや移住の促進に加え、これまでの取組により成果が現れてきている「充実した子育て環境の提供」「移住先としての高い評価」など、本市の強みを活かした施策の推進に取り組むことで、若者や子育て世帯の転入を促進し、社会減の改善を図るとともに、自然動態の面において、将来における年間出生数を160人程度で維持することで、2060年の将来目標人口25,000人の実現を目指します。



※社人研推計人口：2023年12月に国立社会保障・人口問題研究所から公表されたもの

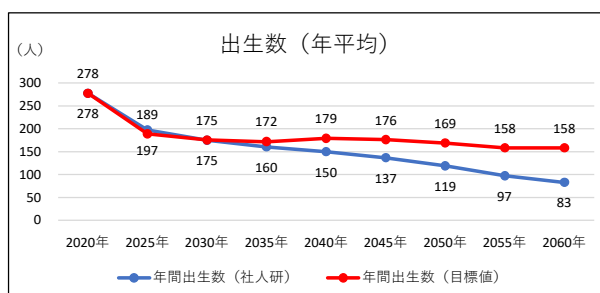
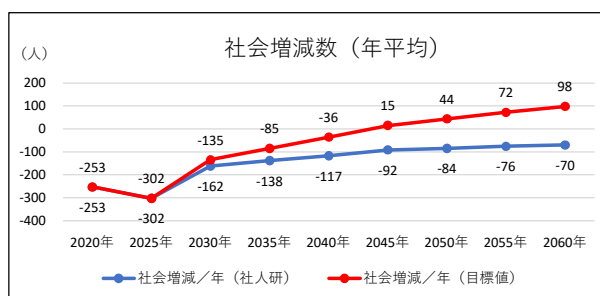
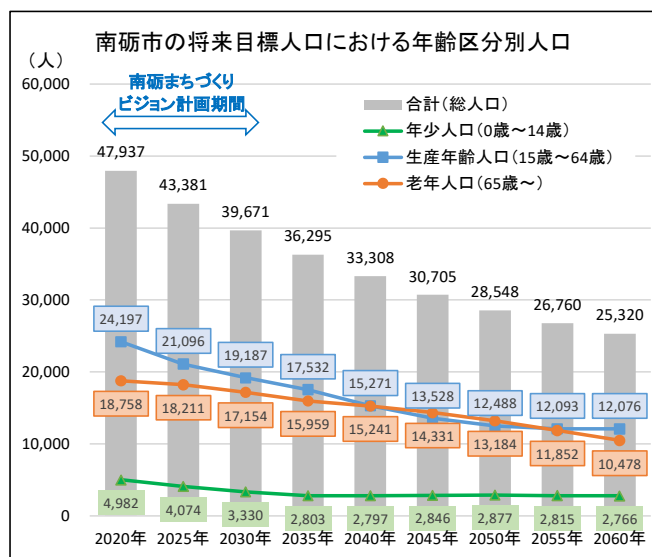
※2055年、2060年は社人研推計人口に基づく市の独自推計

(2) 年齢区分別人口

人口ビジョンに基づき、南砺まちづくりビジョンの後期計画期間（2025年4月から2030年3月）における将来目標人口及び2060年までの年齢3区分別の将来目標人口を、次のとおり設定します。

区分	国勢調査人口	南砺市人口ビジョンでの将来人口				
	2020年	2025年	2030年	2040年	2050年	2060年
年少人口(0～14歳)	4,982人	4,074人	3,330人	2,797人	2,877人	2,766人
生産年齢人口(15～64歳)	24,197人	21,096人	19,187人	15,271人	12,488人	12,076人
老年人口(65歳～)	18,758人	18,211人	17,154人	15,241人	13,184人	10,478人
合計(総人口)	47,937人	43,381人	39,671人	33,308人	28,548人	25,320人

南砺まちづくりビジョン計画期



※年齢区分別人口の合計と総人口は、四捨五入の関係で一致しない場合がある

区分	基準人口	出生	死亡	社会移動
人口ビジョン 2060年 25,320人	2020年 国勢調査	・出生数を年間160人程度、維持し続ける ・合計特殊出生率 2025年 1.31 2030年 1.39 2035年 1.46 2040年以降 1.54	社人研生残率	2015年～2020年の社会移動状況からの推計値に、政策誘導による施策の効果を加え、2060年にかけて若者(20代男女)、子育て世帯の社会増減を段階的に改善させる。 ※2045年から社会増に転じる。
社人研推計 2060年 20,483人	2020年 国勢調査	合計特殊出生率 2025年 1.37 2030年 1.41 2035年 1.44 2040・2050年 1.45 2050年以降 1.46	社人研生残率	2010年～2015年の社会移動状況からの推計値 ※社会増に転じることはない。

第3章 南砺市の現状と課題

1. 時代の潮流と本市における取組状況

(1) SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取組

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されており、日本では2016年12月に「SDGs実施指針」を決定し、「持続可能で強靱、そして誰ひとり取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」というビジョンを掲げています。

本市においては、経済、社会、環境の三側面をつなぐ統合的な取組として人材育成、次世代教育、文化の継承を支える「南砺の土徳文化、支え合いのまちづくり」、地域の課題解決能力を高める「小規模多機能自治の推進」、地域のお金の循環と未来への投資を促す「南砺幸せ未来基金」を進めることとして、2019年7月にSDGs未来都市に選定され、同年8月には、2030年のあるべき姿とその実現に向けた取組を明らかにした「SDGs未来都市計画」（「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～）を策定しています。

本市では、自然と共生し、地域資源を最大限に活用した様々な小さな循環が相互に連動し、支え合いながら自立するコミュニティモデルの確立により、これまで取組んできたエコビレッジ構想を地域内で横展開・深化させ、2030年のあるべき姿「誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ」の実現を目指します。



SDGs未来都市計画で目指すあるべき姿とSDGsの三側面（環境・社会・経済）

誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ

（環境）懐かしい暮らしを再評価し、自然と共生できる
 （社会）あらゆる世代が安心して暮らすことができる
 （経済）地域資源を活用しながら地域課題を解決できる

出典：南砺市SDGs未来都市推進実施計画

(2) DXの活用

社会の激しい変化に対応して、情報通信や人工知能（AI）などの技術は日進月歩で向上していることから、働き方が大きく変化し、価値観や生活全般を含めて社会全体が、情報通信技術無しでは過ごしにくくなってきています。このような時代の中で、本市は、住民や社会のニーズをもとに、データとデジタル技術を活用して、行政サービスや地域づくりの手法を変革するDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、市民の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させる取組を進めていきます。

よりよい市民生活の実現のため、ICTの活用をいかに進めていくかの指針として「南砺市デジタル・トランスフォーメーション推進計画」を策定し、さらにアクションプランにより、具体的な情報化施策を確実に推進していきます。あらゆる利用者を想定し（誰ひとり取り残さない）、格差拡大につながっていないか常に気配りしながら運用し、さらに、適切な業績指標を定め、適時に施策を評価し、場合によっては修正を加えながら、サービスの向上につなげる「誰ひとり取り残さない、人にやさしいデジタル化」を目指すこととしています。



出典：南砺市デジタル・トランスフォーメーション推進計画

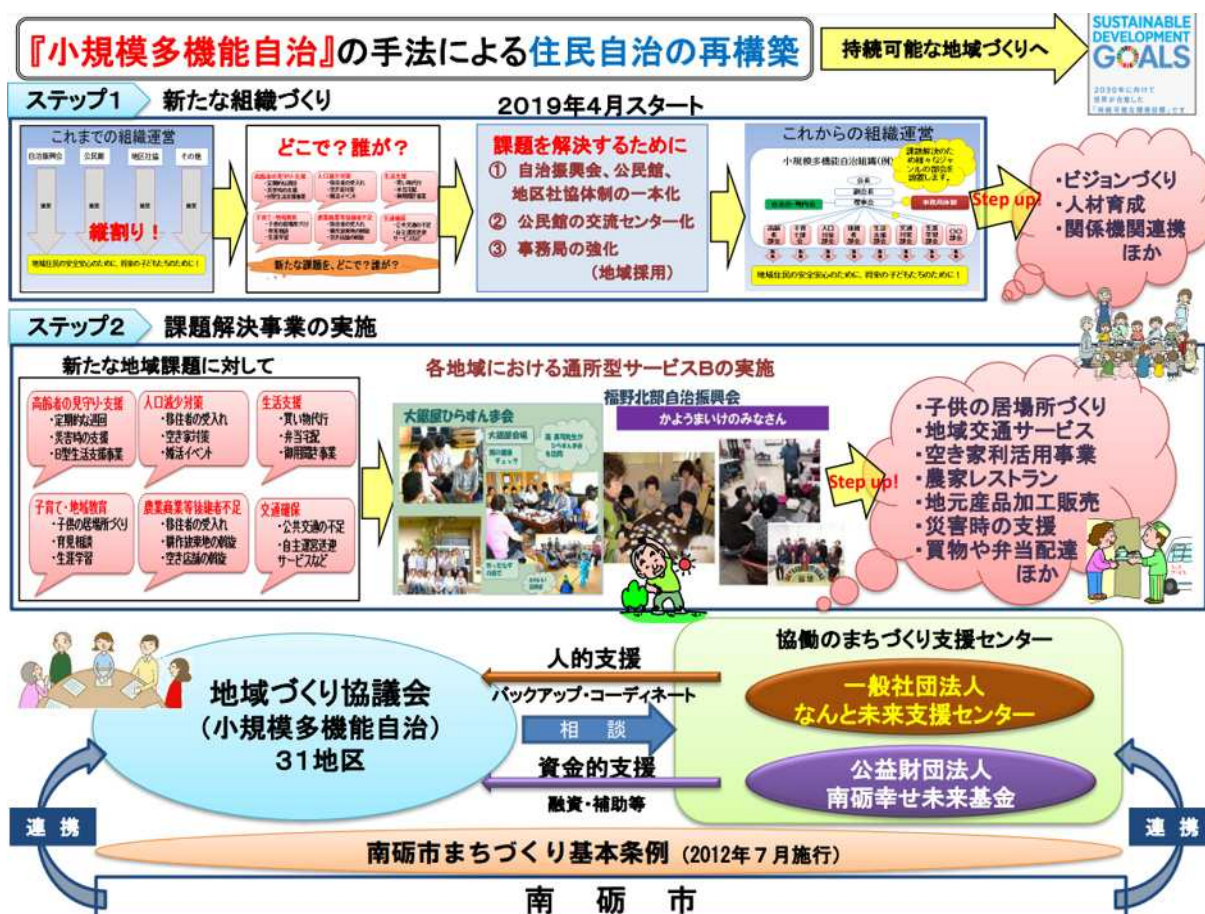
（３）小規模多機能自治の体制支援

2012年7月に施行した「南砺市まちづくり基本条例」では、わたしたちが、このまちに「生まれてきてよかった」「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちになることを願い、市民一人ひとりが市政に参画し、市民が主体となって協働でまちづくりを進めることを定めています。

急激な人口減少や少子高齢化が進行する中で、地域コミュニティにおける担い手不足や地域の生業での後継者不足が顕著になってきました。また、各地域が抱える課題が多様化する中、様々な主体が参加し、互いに連携を図り、柔軟な考え方で地域の実情に合った対策に取り組むことができる「小規模多機能自治」という新たな住民自治の仕組みが、2019年4月からスタートしました。

最初のステップとして、業務の見直しによるスリム化や一本化を通じて組織づくりの再構築が図られました。次のステップとして、地域の課題解決を「自分ごと」として捉える体制づくりを目指し、31 地区の地域づくり協議会が発足しました。さらに、住民自治の取組を支援し連携を図る中間支援組織も設立されました。地域の活性化や課題解決を目的として、「なんと未来支援センター」及び「南砺幸せ未来基金」との連携強化がさらに重要となっています。

今後も、地域コミュニティを持続させるために、「小規模多機能自治」の手法を用いた課題解決型の住民自治の仕組みを地域にしっかり根付かせるとともに、継続的な支援を行うことで、各事業のさらなる発展を通じて持続可能なまちづくりが期待されます。



出典：南砺市作成資料

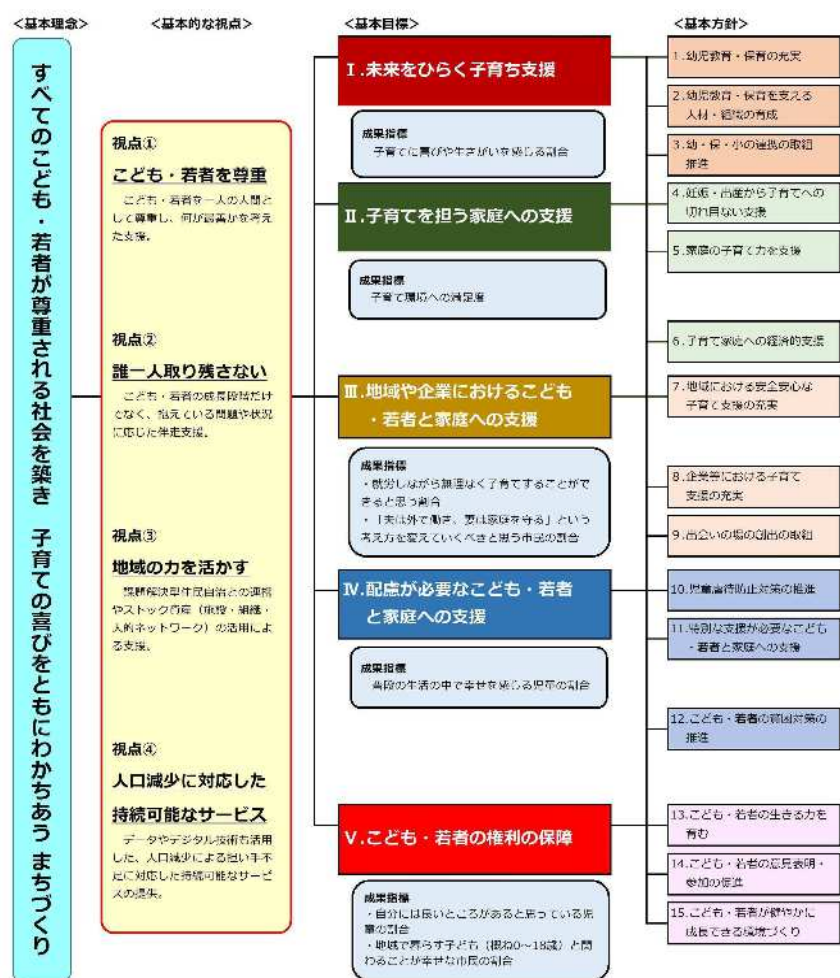
(4) こどもまんなか社会

人口減少や少子高齢化など、子育てを取り巻く社会状況の変化を受けて、国は2023年4月にこども基本法を施行し、こども家庭庁を発足、同年12月に「こども大綱」と「こども未来戦略」を策定しました。

「こども大綱」では、「全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会」を目指しており、それを「こどもまんなか社会」と表現しています。

本市では、こどもも大人も一人の人間として尊重され、すべてのこどもが自由と平和、人とのつながり、幸せを感じながら、健やかに成長できる社会を実現するため、2023年4月に「南砺市こどもの権利条例」を施行しました。また、2025年3月に、「南砺市こども計画」を策定し、すべての住民が子育てを温かく応援するまちづくりを念頭に、こどもと若者の未来をみつめながら、こどもの最善の利益を第一に考え、豊かな人間として育つためのよりよい環境づくりを進めることとしています。

第3期計画の施策体系（案）



出典：南砺市こども計画（2025年3月）

(5) ジェンダー平等の推進

「ジェンダー平等」とは、性別に関わらず、平等に責任や権利、機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味するとされています。しかし、現在においては、多くの場合、性別によって生き方や役割、働き方が決められてしまっています。特に近年、女性の社会進出が進む中で、社会的・文化的に形成されたジェンダーに基づく概念や価値観を問い直し、すべての人の人権を尊重しながら、責任を分かち合い、性別に関わらず個性と能力を発揮できる社会づくりがより重要視されるようになりました。

SDGsにおいても、「ジェンダー平等」はSDGs全体の目的という側面だけでなく、17のゴールをすべて実現するための手段、ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」の一つの独立したゴールとして3つの側面を持っており、とても重要です。

2020年度から進めている「南砺市ジェンダーギャップ解消事業」において、地域・家庭・職場において依然として固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が根強く残っており、男女共同参画社会の実現にはまだ不十分な状況であることが明らかになりました。また、2023年9月には「南砺市男女共同参画推進プラン」の第2次改訂が行われ、性別に関わらず一人ひとりが生き生きと自分らしく過ごせる社会を目指し、誰ひとり取り残さない地域社会の実現に向けて、さらなる取組が進められています。さらに、2024年8月には「南砺市ジェンダーギャップ解消市民会議」が発足し、主に「地域」でのジェンダーギャップ解消に重みを置いた具体的な施策を盛り込んだ提言書が提出されました。これにより、ジェンダーギャップの解消を目指した南砺市の取組が一層強化されることとなります。

【南砺市を目指す男女共同参画社会】

～性別を問わず一人ひとりが自分らしく生きる社会へ～

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を解消し、家庭、地域、職場の環境等において、性別を問わず活躍できる社会づくりが望まれます。

これらを踏まえ、本プランを市民と行政の協働により実現することで、市民が共に認め合い、支え合うことで、コミュニティの活性化を図り、南砺市の明るい未来を切り拓き、さらには、南砺市に暮らすことを誇れる社会の構築を目指します。

共に認め支え合う 南砺の明るい未来に向けて

出典：南砺市男女共同参画推進プラン

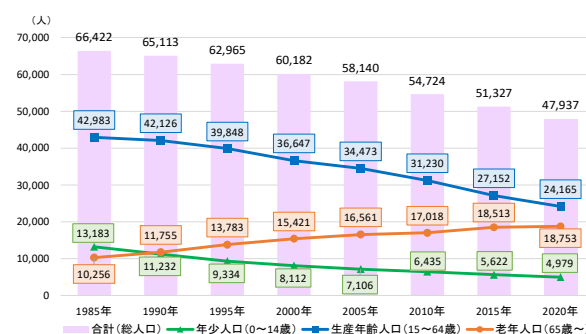
2. 本市を取り巻く状況と課題

(1) 南砺市の統計指標

① 人口の推移

本市の人口は減少が続いており、直近の国勢調査（2020年）で47,937人にまで減少しています。年齢（3区分）別にみると、年少人口（0歳～14歳）及び生産年齢人口（15歳～64歳）は年々減少している一方、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、2020年現在の高齢化率は39.1%となっています。

【南砺市の人口の推移】

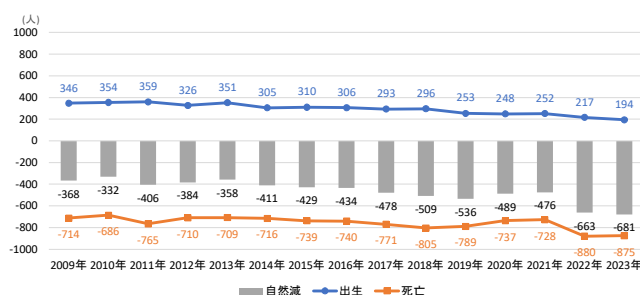


出典：国勢調査

② 自然動態（出生・死亡）の推移

自然増減は2009年以降、常に死亡が出生を上回っており、自然減（出生－死亡）により、近年は毎年400人以上の人口が減少しています。

【南砺市の自然動態（出生、死亡）の推移】

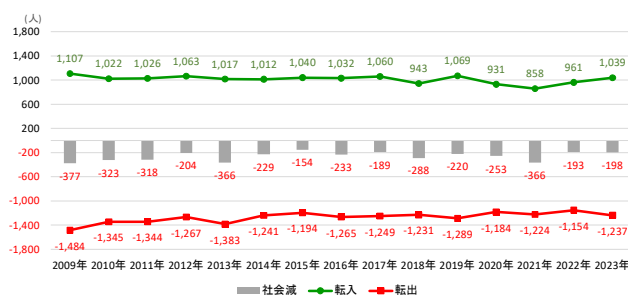


出典：富山県人口移動調査

③ 社会動態（転入・転出）の推移

社会増減は2009年以降、ほぼ転出超過となっています。近年は150～300人程度の転出超過が続いています。

【南砺市の社会動態（転入、転出）の推移】

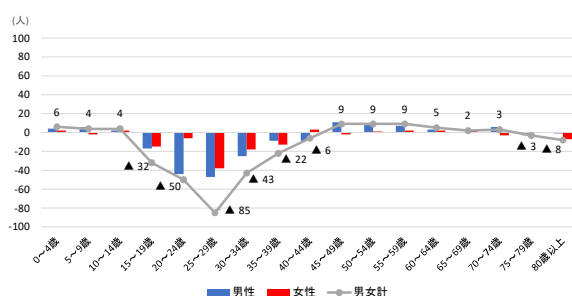


出典：富山県人口移動調査

④ 社会動態の年齢別内訳

直近の社会変動では15～34歳までの転出超過が転出超過数のほとんどを占めています。

【南砺市の社会動態（転入、転出）の年齢別内訳】



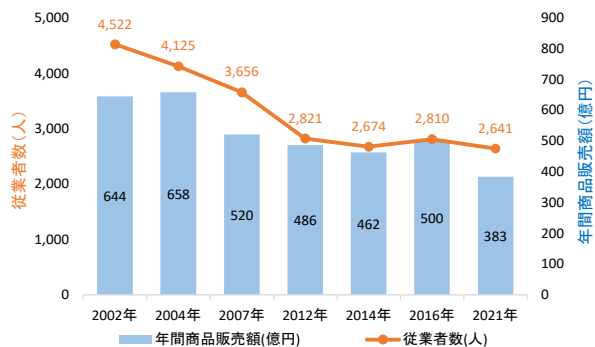
出典：住民基本台帳より作成（2022.10～2023.9）

⑤ 商業・工業の推移

商業については、従業者数や販売額は減少が続いています。

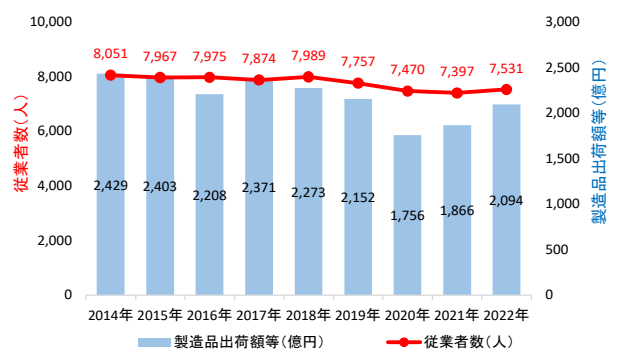
工業については、従業員数は2014年から横ばい、製造品出荷額等は2017年から2020年にかけて減少傾向にあったものの、2021年から再び増加傾向にあります。

【南砺市の商業の推移】



出典：商業統計、経済センサス

【南砺市の工業の推移】

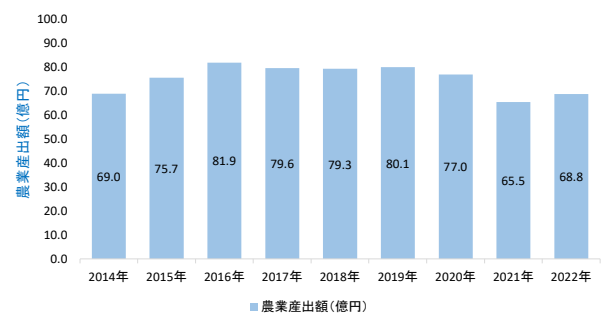


出典：工業統計、経済センサス、経済構造実態調査

⑥ 農業の推移

農業については、農業算出額が2016年まで増加し、以降は横ばいであったが、2021年に減少し、2022年に再び増加となっています。

【南砺市の農業の推移】

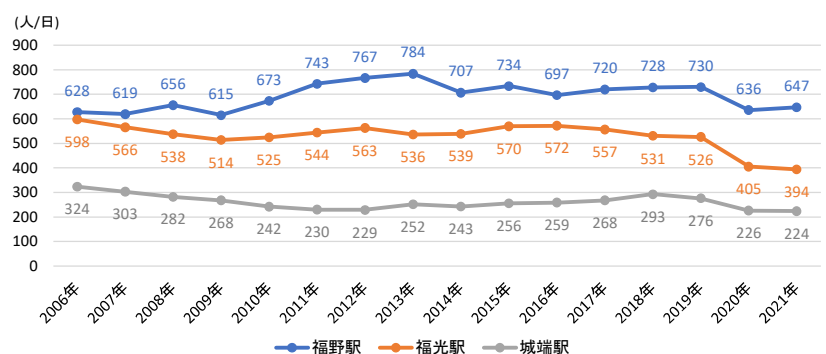


出典：生産農業所得統計、農林業センサス

⑦ 公共交通（鉄道）の利用数の推移

鉄道の利用者数は、福野駅は2013年頃までは増加していましたが、近年は減少傾向にあり、福光駅や城端駅も減少傾向にあります。

【南砺市の鉄道駅の利用者数の推移】



出典：富山県統計年鑑

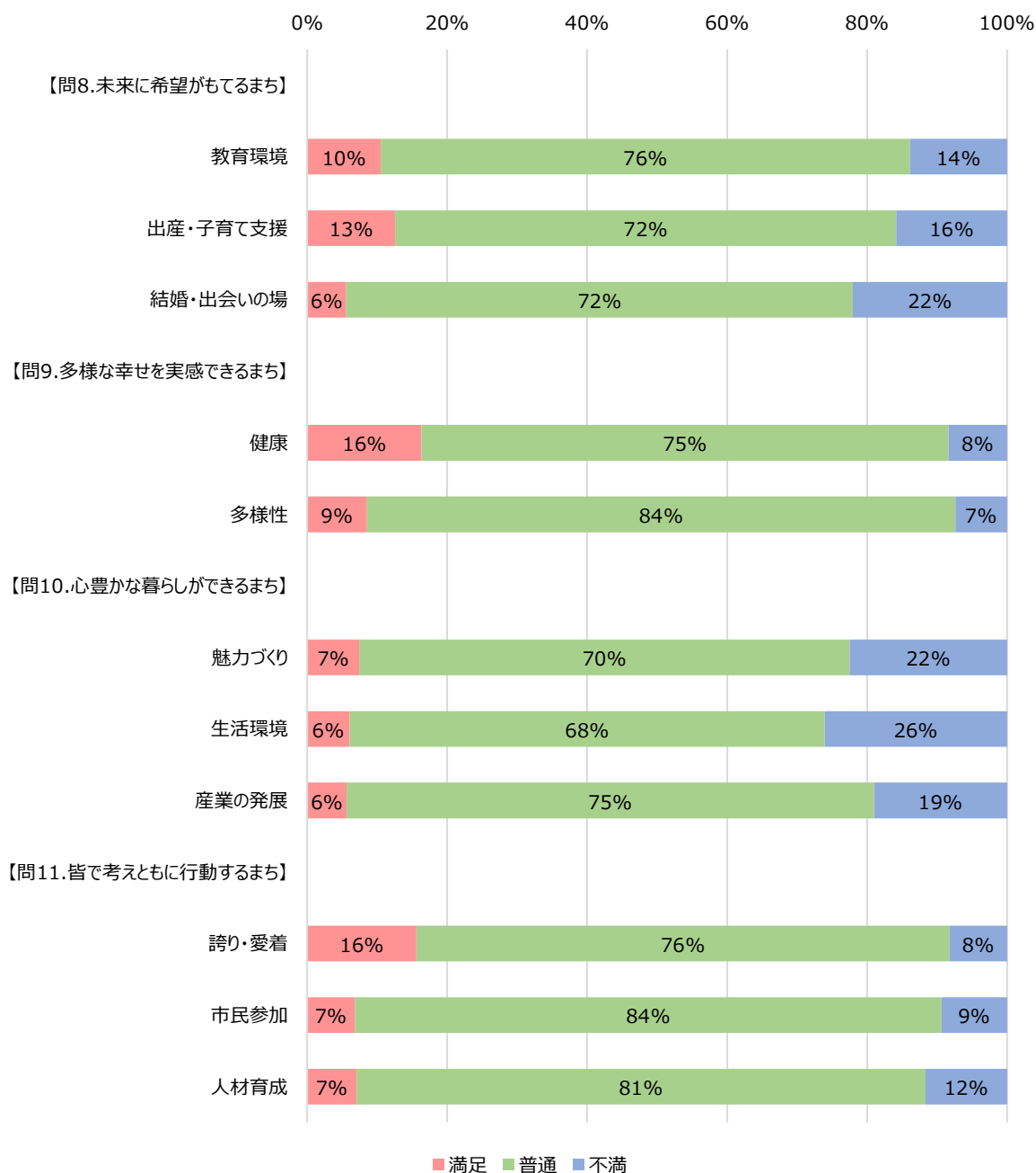
(2) 市民の意識

① 第2次南砺市総合計画「後期まちづくりプラン」策定等に係るアンケート調査

- ・対象者：南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人（男女、年齢、地域に偏りが無いよう無作為抽出）
- ・回収方法：郵送で配布し、郵送及びインターネットにより回収
- ・調査期間：2023年12月～2024年1月
- ・有効回答数：1,003人（調査票発送数2,482人、回収率40.4%）

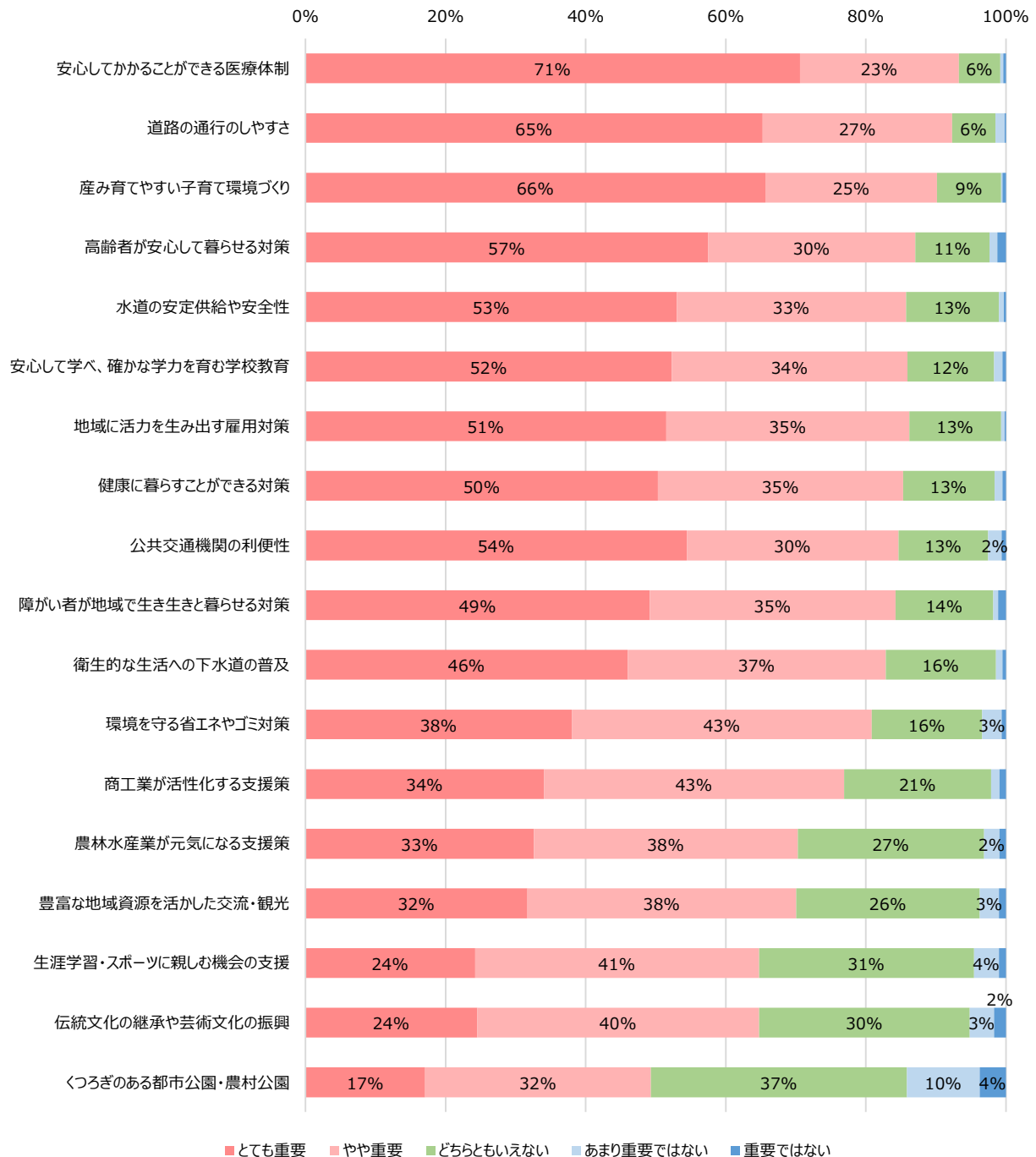
■これまでの取組への満足度について

『健康』『誇り・愛着』に対する「満足」の回答が約2割で、他の項目と比べて多くなっている一方で、『生活環境』『結婚・出会いの場』『魅力づくり』に対する「不満」の回答が2割以上となっており、今後、より重点的に取り組むべき施策といえます。



■総合計画の将来像の実現に重要な事項について

「とても重要」の割合は『安心してかかることができる医療体制（71%）』『産み育てやすい子育て環境づくり（66%）』『道路の通行のしやすさ（65%）』が他の事項より多くなっており、重要視されています。

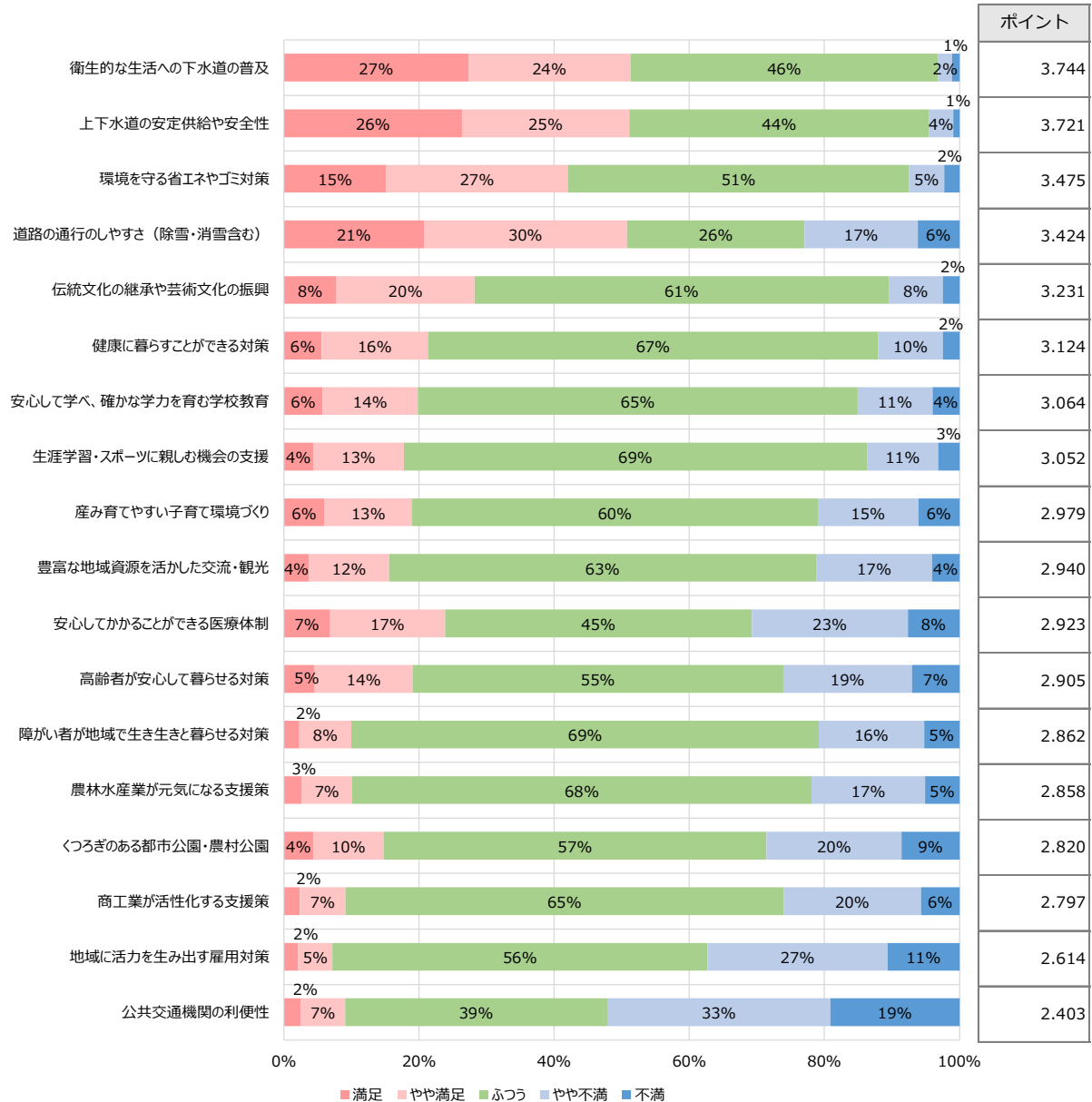


② 2024年度南砺市総合計画市民意識調査

- ・対象者：南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人（男女、年齢、地域に偏りがないよう無作為抽出）
- ・回収方法：郵送で配布し、郵送及びインターネットにより回収
- ・調査期間：2024年5月
- ・有効回答数：1,233人（調査票発送数2,500人、回収率49.3%）

■ 市政への満足度について

「満足」の割合は、『衛生的な生活への下水道の普及』が27%と最も多く、次いで『上下水道の安定供給や安全性』が26%、『道路の通行のしやすさ（除雪・消雪含む）』が21%となっています。一方で、「不満」の割合は、『公共交通機関の利便性』が19%で最も多く、次いで『地域に活力を生み出す雇用対策』が11%、『くつろぎのある都市公園・農村公園』が9%となっており、取組への強化が求められます。



※ポイントの算出方法：
{「満足(%)」×5+「やや満足(%)」×4+「ふつう(%)」×3+「やや不満(%)」×2+「不満(%)」×1}÷100

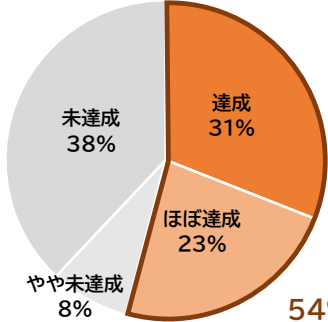
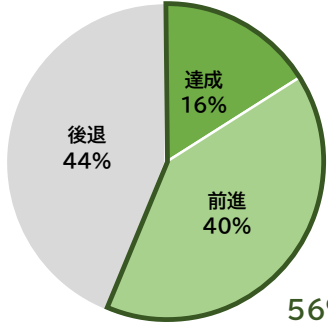
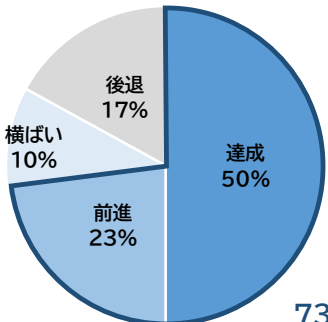
(3) 第2次南砺市総合計画前期まちづくりプランの総括(2020～2024)

前期まちづくりプランの政策目標値(2024)に対して、2023年度で達成となったものが13項目中、4項目(31%)となったほか、3項目がほぼ達成(23%)となり、半数以上で成果が見られる結果となっています。また、KPIでは2023年度の目標値を達成したものと2022年度実績から前進したものを含めたものが56%、個別事業では同じく73%となり、一定の成果はあったと考えられます。

これらの結果を踏まえ、後期まちづくりプランでは、人口減少対策として、特に若者から選ばれるまちづくりに力を入れ、20代、30代の人口を維持していく必要があると認識しています。

そのためにも、児童生徒への郷土愛を育む事業を引き続き行い、高校卒業や就職を機に市外に転出された多くの若者に対し、Uターンや移住のために必要な3要素である「居」(居場所)・「職」(仕事)・「住」(住居)を整備し、市内での取組体制の一元化を図っていく必要があります。

また、情報発信の重要性を認識し、全職員が情報発信に対する意識を改善し、継続的かつ戦略的なシティプロモーションを推進していくことが、成果を上げていくうえで必須と考えられます。

	項目	評価基準
政策目標	 達成 31% ほぼ達成 23% やや未達成 8% 未達成 38% 54%	【2024年度の目標値における2023年度の実績値の割合】 「達成」=1以上 「概ね達成」=0.8以上1未満 「やや未達成」=0.6以上0.8未満 「未達成」=0.6未満
KPI進捗率	 達成 16% 前進 40% 後退 44% 56%	【2024年度の目標値における2023年度の実績値の割合】 「達成」=実績値が2023年度目標値を上回り、達成した状態 「前進」=実績値が目標に向かい、2022年度の実績値から前進している状態 「横ばい」=実績値が2022年度の実績値から変動が見られない状態 「後退」=実績値が2022年度の実績値より後退している状態
個別事業進捗状況	 達成 50% 前進 23% 横ばい 10% 後退 17% 73%	※割合(%)は前年度の数値が無いものを除く「達成」～「後退」の小計を分母にしている

① 未来に希望がもてるまち

基本目標	施策・主な事業と主な成果（実績値：2023 年）	
学校が楽しいと思っ ている児童生徒の割合 目標：小学校 90.0% (2024) 中学校 90.0% 当初：小学校 82.9% (2019) 中学校 84.2% <u>現状：小学校 81.5%</u> <u>(2023) 中学校 79.5%</u>	施策：未来に夢と希望をもてる教育環境の充実	
	●主な事業 ・ I C T 教育支援事業（学校間をつなぐ遠隔協働学習事業） ・ 山村留学定住事業 ・ I C T 機器整備事業 ・ 中学校部活動支援事業 ・ なんと元気っ子教室事業 ・ 図書館デジタル化推進事業	●主な成果 ・ タブレットを自宅学習に用いた日数：101 教科（目標値：100 教科） ・ 長期山村留学生：12 人（目標値：12 人） ・ 小中学校に電子黒板の整備率：100%（目標値：80%以上） ・ 中学校部活動における部活動指導員とスポーツエキスパートの配置率：82.4%（目標値：79.4%） ・ なんと元気っ子教室開催数：67 教室（目標値：50 教室） ・ 学校で貸し出した児童・生徒一人当たりの貸出冊数の 2022 年度比（伸び）：119%（目標値：105%）
子育て世帯の転入数 目標：75 人 (2020-2024) 当初：11 人 (2019) <u>現状：33 人</u> <u>(2020-2023)</u>	施策：出産・子育て支援	
	●主な事業 ・ 子育て交流サロン ・ 子育て・親育ち応援事業 ・ なんと！やさしい子育て応援企業認定制度 ・ 子どもの居場所づくり促進事業 ・ とやまっ子さんさん広場推進事業 ・ 放課後児童クラブ事業 ・ 児童精神科運営事業 ・ 親子の絆づくり事業	●主な成果 ・ 子育て交流サロンの平均利用親子組数/週：19.4 組（目標値：15 組） ・ 子育て・親育ち応援事業受講者数/年：163 人（目標値：80 人） ・ 新たに認定した企業数/年間：6 件（目標値：5 件） ・ 放課後におけるこどもの安全安心な居場所数：23 箇所（目標値：22 箇所） ・ 放課後におけるこどもの安全安心な居場所数：23%（目標値：22%） ・ 放課後におけるこどもの安全安心な居場所数：23%（目標値：22%） ・ 児童精神科受診患者数（延べ）：984 人（目標値：104 人 ※2023 年） ・ 子育てに喜びや生きがいを感じる市民の割合：90.7%（目標値：90%）
年間出生数 目標：1,491 人 (2020-2024) 当初：247 人 (2019) <u>現状：865 人</u> <u>(2020-2023)</u>	施策：結婚・出会いの場の創出	
	●主な事業 ・ あなたと私を結ぶ赤い糸（A I P 4 8）・婚活応援団なんとおせっ会プロジェクト ・ 結婚新生活支援事業	●主な成果 ・ 累積会員成婚卒業組数：274 組（目標値：285 組） ・ 申請件数：12 件（目標値：9 件）
課題 ・ 地域のスポーツや文化活動が持続可能な環境を整備するなど、さらなる教育環境の充実が必要 ・ こどもの権利に関する継続的な啓発活動や全庁をあげた子育て支援に取り組むなど、さらなる子育て環境の充実が必要 ・ 現状に応じた事業内容の見直しなど、時代のニーズに合った婚活支援に取り組むことが必要		

② 多様な幸せを実感できるまち

基本目標	施策・主な事業と主な成果（実績値：2023 年）	
健康寿命 目標：男性 80.47 歳 （2024）女性 84.61 歳 当初：男性 79.82 歳 （2019）女性 83.96 歳 <u>現状：男性 81.68 歳</u> <u>（2023）女性 84.48 歳</u>	施策：心身ともに健康で暮らしやすい社会の構築	
	●主な事業 ・介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業 ・介護人材雇用型訓練委託事業 ・学生健診事業 ・新 40 歳人間ドック受診促進事業 ・フレイル予防事業 ・がん患者補正具購入費補助事業 ・若年層胃疾患リスク健診事業 ・スポーツで健康向上事業 ・通所型サービス B 事業（地域住民主体） ・訪問型サービス B 事業（軽度介護者向け）	●主な成果 ・累積実施団体数：11 団体（目標値：11 団体） ・累積受講者：31 人（目標値：16 人） ・健診を受診した者のうち、保健指導が必要と判定された者への指導率：100％（目標値：80％） ・継続受診率：過去 3 年間に本制度を利用して受診した者のうち、何らかの検診（健診）を受診した者の割合（国保）：59.5％（目標値：28％） ・フレイルサポーター累積数：75 人（目標値：70 人） ・申請件数：25 件（目標値：15 件） ・新 40 歳の胃がん検診受診率：10.2％（目標値：11％） ・スポーツクラブ会員数：7,192 人（目標値：8,200 人） ・累積実施団体数：10 団体（目標値：11 団体） ・累積実施団体数：1 団体（目標値：3 団体）
地域とのつながりを実感する市民の割合 目標：向上させる （2024） 当初：67.9％ （2020） <u>現状：67.0％</u> <u>（2023）</u>	施策：多様性を認める社会の構築	
	●主な事業 ・外国人児童生徒支援事業	●主な成果 ・支援を必要とする児童生徒数に対する配置割合：85％（目標値：80％）
課題 ・各種支援サービスに携わるスタッフや後継者不足への対応やスポーツ環境のさらなる普及が必要 ・多様な生き方や考え方を受け入れる、寛容な社会の実現を目指すため、ジェンダーギャップや固定的な性別役割分担意識を解消し、誰もが地域で活躍できるようなまちづくりが必要 ・個人、家族が抱える課題が多様化、複雑化しており、社会福祉、医療、教育、就労支援など異なる領域が連携した支援体制や地域づくりが必要		

③ 心豊かな暮らしができるまち

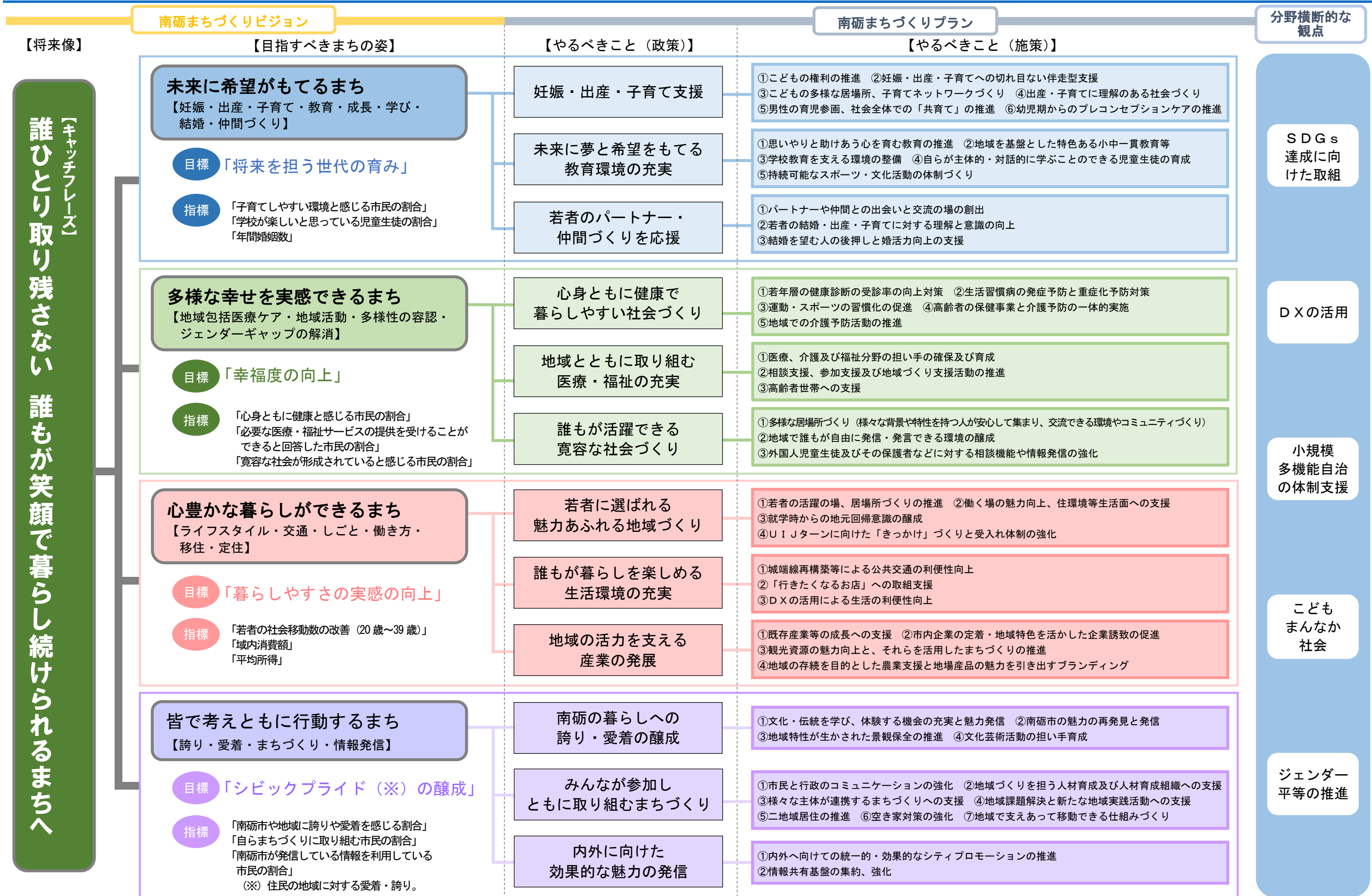
基本目標	施策・主な事業と主な成果（実績値：2023 年）	
若者の純移動率の改善 目標：109.8% （2024） 当初：106.4% （2019） <u>現状：95.0%</u> <u>（2023）</u>	施策：若者が住みたくなる魅力づくり	
	●主な事業 ・「なんとジョブ」サイト運営 ・起業家育成支援事業 ・自分の未来をえがく出前授業 ・官学連携事業（官学連携共同研究業務委託） ・定住支援事業 ・「みんなで農作業の日」推進事業 ・若者・女性採用企業応援プロジェクト ・南砺と繋がるコミュニティ形成事業 ・若者・女性に選ばれる企業への変革応援補助金	●主な成果 ・なんとジョブHPアクセス数：34,912 件（目標値：24,000 件） ・補助金活用件数：5 件（目標値：5 件） ・実施校数：5 校（目標値：2 校） ・学生の参加者数：207 人（目標値：100 人） ・定住支援事業の交付件数：110 件（目標値：109 件） ・「みんなで農作業の日」in五箇山に参加する人数：461 人（目標値：413 人） ・参画企業：10 社（目標値：10 社） ・市出身若者等の交流会参加者：33 人（目標値：30 人） ・申請件数（延べ）：29 件（目標値：25 件）
域内消費額 目標：1,745 億円 （2024） 当初：1,745 億円 （2013） <u>現状：1,881 億円</u> <u>（2018）</u>	施策：誰もが暮らしを楽しめる生活環境の充実	
	●主な事業 ・空き家・空き店舗利用促進事業 ・クリエイティブ産業振興・発信事業 ・南砺ブランド商品開発支援事業 ・クラフトバレーフェア出展事業	●主な成果 ・補助金活用件数：9 件（目標値：4 件） ・施設利用者数：3,390 人（目標値：1,460 人） ・「南砺の逸品」ECサイト販売額：220 万円（目標値：172 万円） ・出展事業者数：5 件（目標値：5 件）
平均所得 目標：向上させる （2024） 当初：262 万円 （2019） <u>現状：283 万円</u> <u>（2023）</u>	施策：誰もが暮らしを楽しめる生活環境の充実	
	●主な事業 ・就農マッチングツアー事業 ・南砺金沢線活用誘客促進事業 ・農産物販売促進事業 ・サイクルツーリズム促進事業 ・集落営農再成塾開講業務 ・農業人材活躍促進重点事業 ・外国人観光客受入環境 ICT 活用事業（AI チャットボット）	●主な事業 ・年間参加人数：17 人（目標値：8 人） ・南砺金沢線バス利用者数：36,844 人（目標値：33,500 人） ・総売上額：2962 千円（目標値：1000 千円） ・レンタサイクル利用数：408 台（目標値：400 台） ・話合いや新たな取組を開始する集落営農組織数：18 組織（目標値：10 組織） ・新規就農者数：9 人（目標値：7 人） ・外国人利用者数：574 人（目標値：200 人）
課題 ・市外流出の抑制に向け、地域課題を解決する人材育成のための仕組みづくりが必要 ・公共交通サービスの利便性のほか、地域内消費や地域経済を維持する取組が必要 ・農業等の担い手の確保や経営基盤の強化のほか、インバウンド等のターゲットを絞った観光事業の展開が必要		

④ 皆で考えともに行動するまち

基本目標	施策・主な事業と主な成果（実績値：2023 年）	
南砺市や地域に誇りや愛着を感じる市民の割合 目標：70.0% (2024) 当初：67.6% (2019) <u>現状：64.8%</u> <u>(2023)</u>	施策：なんとの暮らしへの誇り・愛着の醸成	
	●主な事業 ・ふるさと教育推進事業 ・南砺市文化芸術アーカイブホームページ推進事業 ・松村記念館資料調査事業 ・棟方志功資料調査事業 ・民藝活用事業業務委託 ・いなみ国際木彫刻キャンプ2023	●主な成果 ・市長への提言実施校（小学校1校、中学校1校）：2校（目標値：2校） ・ホームページの月平均アクセス数：4,520件（目標値：2,400件） ・累積来場者数：1,872人（目標値：1,237人） ・2020～2022年の3年間で寄贈を受ける未整理の関係資料について、調整・整理・データ化の割合：90%（目標値：90%） ・民藝の講座・講演の開催：1件（目標値：1件） ・キャンプ来場者数：36,000人（目標値：32,000人）
まちづくりに参加している市民の割合 目標：向上させる (2024) 当初：9.4% (2019) <u>現状：12.2%</u> <u>(2023)</u>	施策：みんなが参加したくなるまちづくり	
	●主な事業 ・官民連携による人材の活用（シティプロモーション推進） ・官民連携による人材の活用（DX）	●主な成果 ・シティプロモーションの年間情報発信件数：9件（目標値：3件） ・DX研修会の参加人数（累計）：213人（目標値：180人）
自らまちづくりに取り組む市民の割合 目標：53% (2024) 当初：45.9% (2019) <u>現状：42.0%</u> <u>(2023)</u>	施策：市民がまちをつくる実感の醸成	
	●主な事業 ・住民自治組織強化事業（小規模多機能自治推進セミナー） ・なんと未来創造塾開催事業 ・空き家等地域対策推進員設置事業 ・空き家対策連絡協議会推進事業 ・住民自治推進交付金事業（地域づくり費及び推進人件費分） ・地域医療推進事業 ・南砺市空家等状況の現地確認及び流通物件の可否判断業務委託	●主な成果 ・地域課題の解決につながる収益性のある事業に取り組む地域づくり協議会数：10協議会（目標値：10協議会） ・前年度の修了式に提案されたビジネスプランの実施率：70%（目標値：50%） ・活動実績率：87%（目標値：75%） ・累積参加者数：120人（目標値：80人） ・地域課題の解決につながる収益性のある事業に取り組む地域づくり協議会数：10協議会（目標値：10協議会） ・【2022年まで】コミュニティー・メディカル・デザイナー養成講座の参加者数【2023年から】「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」講演会参加者数：99人（目標値：40人） ・老朽危険空き家等除却支援事業補助金の交付件数：46件（目標値：33件）
課題 ・児童を含めた全世代がふるさとを知り、学ぶ機会の創出とそれによる愛する心の醸成が必要 ・若者ネットワーク事業などの若者と地域との結びつきを広げ、まちづくりの意識向上が必要 ・南砺ファンの拡大やUターン者の増加に向け、地域の魅力を戦略的に発信するためのシティプロモーションが必要 ・地域活動の活性化や地域力の底上げ、空き家所有者への継続的な啓発活動の実施が必要		

第4章 施策の体系

1. 施策の体系



2. 時代の潮流に即した全分野へ横断的に関わる5つの観点

(1) 分野横断的な5つの観点の考え方

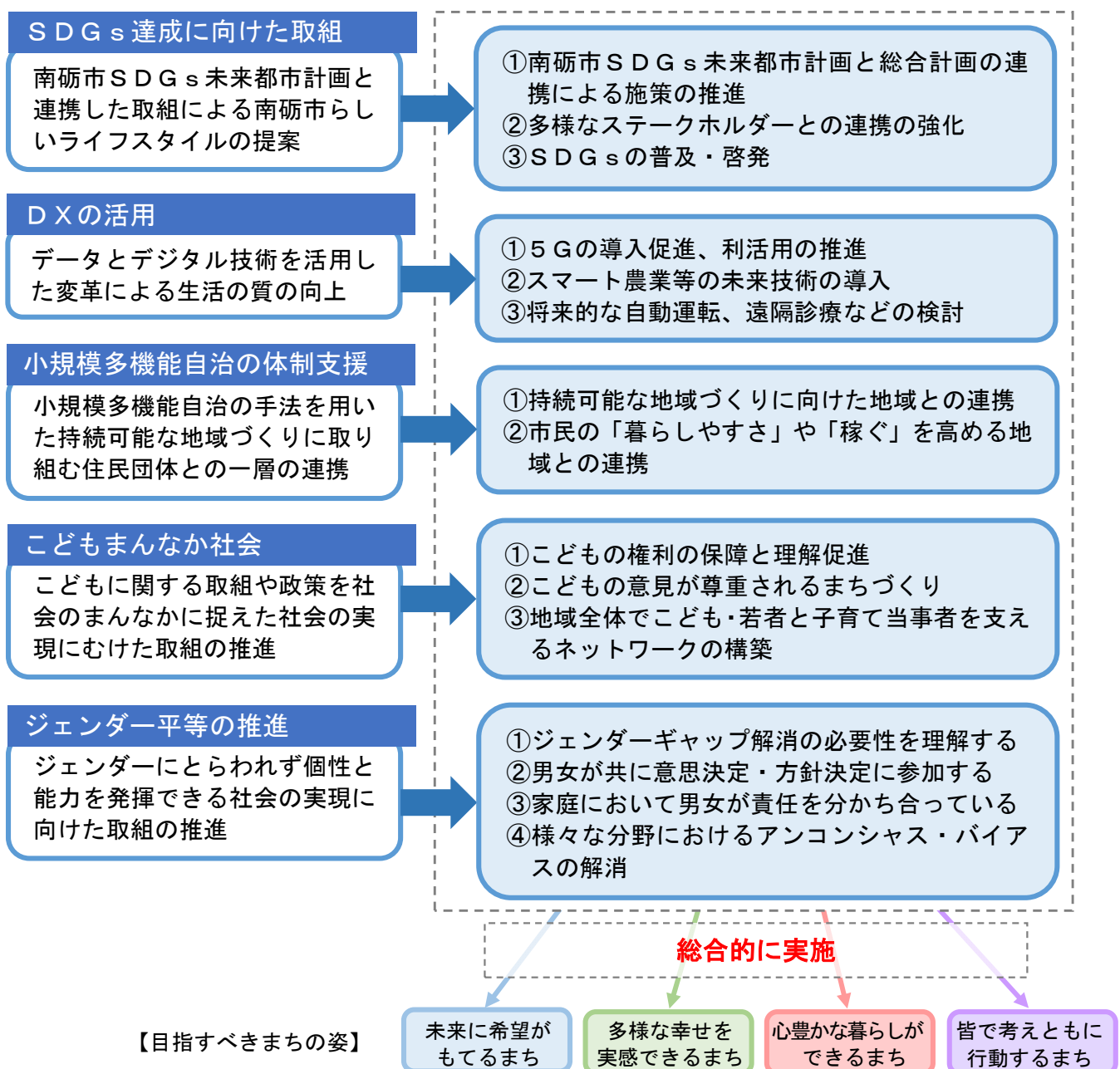
時代の潮流におけるSDGs達成に向けた取組やDXの活用、小規模多機能自治の体制支援、こどもまんなか社会、ジェンダー平等の推進などについては、南砺まちづくりビジョンを実現するために非常に重要な観点です。

これら5つの観点から導かれる対応策を、総合的に各施策に反映していくことで、4つの目指すべきまちの姿の実現を図っていくこととします。

(2) 5つの観点における対応

【分野横断的な観点】

【本計画における対応】



第5章 南砺まちづくりプラン

1. 未来に希望がもてるまち

(1) 妊娠・出産・子育て支援

【現状と課題】

- ・こどもが健やかに自分らしく成長するための環境づくりが必要
- ・南砺のこどもまんなか社会の実現が必要
- ・子育て世代へのさらなる経済的支援が必要
- ・こどもの遊び場を含めた「こどもの居場所」の充実が必要
- ・子育て世代が交流できる場の充実が必要、ネットワークの構築が必要
- ・「共働き世帯」への支援や「共育て」の推進が必要
- ・幼児期から心と体を大切にする正しい学びが必要

【今後の方針】

こどもや若者が将来にわたって心豊かな生活を送ることができるよう、国のこども大綱やこどもまんなか実行計画に基づいた総合的な取組を進め、地域全体でこどもの成長を支える体制を整えながら充実した子育て環境をつくるとともに、男性の育児参画の促進を図ります。また、広い視野でのプレコンセプションケア（※）を推進し、幼児期・学童期・思春期と段階を追って正しい知識を得ることで、自他を尊重し、安全かつ健康的・肯定的な人間関係を構築し、自分の人生を豊かに生きる力を育みます。

政策 目標	産み育てやすい子育て環境を充実させる	指標	子育てしやすい環境と 感じる市民の割合	目標	85.0% (79.0%) () 内数値：2024 (R6) 年度調査
----------	--------------------	----	------------------------	----	---

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①こどもの権利の推進 ②妊娠・出産・子育てへの切れ目ない 伴走型支援 ③こどもの多様な居場所、子育て ネットワークづくり ④出産・子育てに理解のある社会 づくり ⑤男性の育児参画、社会全体での 「共育て」の推進 ⑥幼児期からのプレコンセプショ ンケアの推進	①こどもの権利条例事業 ②妊娠・出産包括支援事業（南砺市型「ネウボラ」推進事業） こども妊産婦医療費助成事業 高校生通学支援金制度 保育料軽減・副食費軽減事業 ③こどもの遊び場調査・整備促進（新） とやまっ子さんさん広場推進事業 放課後子ども教室事業 ④なんと！やさしい子育て応援企業認定制度 ⑤子育て・親育ち応援事業 女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業 ⑥幼児期からの生きる学び事業（新） 学童・思春期保健事業

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	市民の育休取得率（男女別）	向上させる
	平日に1時間以上家事・育児を行う男性の割合	35.0%（28.1%）
	就労しながら無理なく子育てできると感 じる市民の割合	65.0%（59.4%）

（※）将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合うこと。

(2) 未来に夢と希望をもてる教育環境の充実（教育・学び・成長）

【現状と課題】

- ・将来において地域を担う人材育成が必要
- ・学校が楽しいと思っている児童、生徒の割合が減少、不登校の増加
- ・地域性を活かした特色ある学習環境づくりが必要
- ・児童生徒数の減少に伴い市立学校統合の検討が必要
- ・スポーツ・文化活動の持続可能な環境整備が必要

【今後の方針】

地域を支え、地域に貢献できる人材を育てるために、思いやりと助け合う心の育成、生きていく力を身につける教育を地域と共に推進します。また、市立学校を取り巻く環境の変化に合わせ、少子化が進んでも学校が楽しいと思えるような魅力ある学習環境の充実を図り、全ての市民が活躍できる学びの体制づくりを進めます。

政策 目標	教育環境を充実 させる	指 標	学校が楽しいと思っ ている児童生徒の割合	目 標	小学校 90.0% (81.5%) 中学校 90.0% (79.5%) () 内数値：2023 (R5) 年度数値
------------------	----------------	----------------	-------------------------	----------------	--

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①思いやりと助けあう心を育む教育の推進 ②地域を基盤とした特色ある小中一貫教育等 ③学校教育を支える環境の整備 ④自らが主体的・対話的に学ぶことのできる 児童生徒の育成 ⑤持続可能なスポーツ・文化活動の体制づくり	①ふるさと教育推進事業 ②コミュニティ・スクールの導入事業（新） 山村留学定住事業 地域みらい留学推進事業 こどもの居場所づくり支援事業 ③市立学校統合検討の推進 校内教育支援センター事業（新） ④ICT教育支援事業 ⑤中学校部活動支援事業 ジュニアスポーツクラブ等体制整備事業 市民大学講座

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 () 内数値：2024（R6）年度調査
	自分には良いところがあると思っている児童 生徒の割合	小学校 90.0% (84.3%) 中学校 90.0% (82.3%) () 内数値：2023 (R5) 年度数値
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて自 分の考えを深めたり広げたりすることができ ている児童生徒の割合	小学校 85.0% (76.9%) 中学校 85.0% (82.0%) () 内数値：2023 (R5) 年度数値
	スポーツ少年団やクラブチーム（文化活動含） 等の活動に参加している小学5・6年生の割合	90.0% (85.0%)

(3) 若者のパートナー・仲間づくりを応援（婚活支援・仲間づくり）

【現状と課題】

- ・経済的な負担等、将来に対する潜在的な不安感の解消が必要
- ・婚姻数・出生数の減少
- ・結婚したほうがよいと思う若者の減少
- ・結婚を意識できる相手にめぐり合えない等の理由による晩婚化・非婚化
- ・若者の出会いの場の減少

【今後の方針】

若者が南砺で幸せな未来を描けるよう、仲間を増やせる交流の機会や参加したくなる出会いの場などを創出します。また、南砺で結婚を望む人の希望が叶う環境を整えます。

政策	結婚を望む人の希望を叶	指	年間婚姻数	目	110 組（100 組）
目標	える	標		標	（ ）内数値：2023（R5）年度数値

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①パートナーや仲間との出会いと交流の場の創出	①あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（A I P 4 8）事業
②若者の結婚・出産・子育てに対する理解と意識の向上	異業種交流事業（新）
③結婚を望む人の後押しと婚活力向上の支援	②若者へのプレコンセプションケア（※）の推進（新）
	ブレ妊活健康診査費助成事業
	③あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（A I P 4 8）事業
	結婚新生活支援事業

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	交流イベント・セミナーの参加者数	350 人（215 人） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
	婚活倶楽部卒業生の延べ成婚組数	350 組（273 組） （ ）内数値：2023（R5）年度数値

（※）将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合うこと。

2. 多様な幸せを実感できるまち

(1) 心身ともに健康で暮らしやすい社会づくり

【現状と課題】

- ・若年層の健康診断受診率が低い
- ・日ごろから運動する人の減少
- ・介護予防活動への参加率の低下
- ・30代から50代にかけての働き盛り世代において、スポーツ実施率が低い

【今後の方針】

ライフステージに応じた健康管理により、健康の維持と増進を図ります。また、30代から50代の年齢層に照準を合わせたスポーツへの参加の機会づくりを促進するとともに、高齢者の心身機能の維持や生きがいのある生活を実現するため、地域での介護予防活動を推進します。

政策 目標	心身ともに健康と感 じる市民を増やす	指 標	心身ともに健康と感 じる市民の割合	目 標	50.0% (44.5%) () 内数値：2024 (R6) 年度調査
----------	-----------------------	--------	----------------------	--------	---

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①若年層の健康診断の受診率の向上対策 ②生活習慣病の発症予防と重症化予防対策 ③運動・スポーツの習慣化の促進 ④高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ⑤地域での介護予防活動の推進	①学生健康診査事業 ②新40歳人間ドック受診促進事業 ③スポーツで健康向上事業 ④フレイル予防事業 ⑤通所型サービスB事業（地域住民主体） 介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品整備事業

KPI (個別の 達成目標)	指標名	最終年(2029(R11)年)の 目標値 () 内数値：2024 (R6) 年度調査
	健康に暮らすための行政サービスに不満を感じていない市民の割合	90.0% (88.0%)
	1年以上継続して運動する市民の割合（1回30分以上、散歩、体操を含む）	40.0% (33.5%)
	週1回以上の集いの場（通所型サービスBと週1回以上行うサロン）に参加する高齢者の人数	800人 (634人)

(2) 地域とともに取り組む医療・福祉の充実

【現状と課題】

- ・医療・福祉サービスの職員不足
- ・一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の増加
- ・介護・障がい・生活困窮等複数課題を抱える世帯の増加

【今後の方針】

いつまでも健やかに安心して暮らせるよう、障がい福祉や介護、看護スタッフ等の医療従事者の確保や医療連携体制の構築を図り、地域に必要な医療・福祉サービスの提供に努めます。また、個人や家族が抱える課題が多様化・複雑化している中、社会福祉、医療、教育、就労支援など異なる領域が連携した支援体制や地域づくりを推進します。

政策 目標	医療・福祉サービスの満足度を向上させる	指標	必要な医療・福祉サービスの提供を受けることができると回答した市民の割合	目標	向上させる
----------	---------------------	----	-------------------------------------	----	-------

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①医療、介護及び福祉分野の担い手の確保及び育成 ②相談支援、参加支援及び地域づくり支援活動の推進 ③高齢者世帯への支援	①介護人材雇用型訓練委託事業 介護福祉士実務者研修受講費用補助事業（新） 外国人介護人材受入費用補助事業（新） 医療とアートの連携事業（新） ②重層的支援事業（新） ③訪問型サービスB事業 高齢者お出かけ支援券扶助事業

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	高齢者が安心して暮らせる対策に満足している市民の割合	77.0%（73.9%）
	安心してかかることができる医療体制に満足している市民の割合	72.0%（69.3%）

(3) 誰もが活躍できる寛容な社会づくり（多様性・ジェンダーギャップ解消）

【現状と課題】

- ・歯止めがかからない若年女性の転出超過
- ・アンコンシャス・バイアス（※）の気づきと解消が必要
- ・ジェンダーギャップ解消の取組の認知度の低迷
- ・誰もが地域で意見を言いやすい環境づくりが必要
- ・外国人にも選ばれるまちづくりが必要
- ・多様な生き方や考え方を受け入れる風土づくりが必要

【今後の方針】

社会の中にある様々な障壁の解消や既存の環境・風土の改善を進めることで、年齢や性別、国籍、文化、障がいの有無などにとらわれず、全ての人が多様な生き方や考え方を受け入れ、互いを認め合い、ともに生活し、活躍していくことができる寛容な社会の実現を目指します。

政策 目標	地域の寛容度を向 上させる	指 標	寛容な社会が形成されて いると感じる市民の割合	目 標	向上させる
施策の内容			やるべきこと（主な具体的事業）		
①多様な居場所づくり（様々な背景や特性を持つ人が安心して集まり、交流できる環境やコミュニティづくり）			①重層的支援事業（新） 介護のしごと外国人日本語教室事業（新） ともいきカフェ事業		
②地域で誰もが自由に発信・発言できる環境の醸成			②女性活躍・ジェンダーギャップ解消推進事業 「女性チャレンジ塾」事業		
③外国人児童生徒及びその保護者などに対する相談機能や情報発信の強化			③外国人児童生徒支援事業 多文化共生社会形成事業		

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	地域とのつながりを実感する市民の割合	70.0%（67.0%）
	地域や職場のジェンダー平等が進んでいると思う市民の割合	向上させる
	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方を変えていくべきと思う市民の割合	70.0%（65.7%）

（※）無意識の思い込み。

3. 心豊かな暮らしができるまち

(1) 若者に選ばれる魅力あふれる地域づくり（しごと・働き方・移住定住）

【現状と課題】

- ・歯止めがかからない若者の転出超過
- ・住宅着工件数の減少
- ・若者や単身者向け住居の不足
- ・若者、女性が活躍できる企業の育成・誘致が必要

【今後の方針】

若者、女性が活躍できる魅力ある企業の増加と市内就業の促進を図るため、働き方改革や魅力の発信を支援するとともに、起業等で地域課題の解決を目指す人材育成の仕組みづくりに取り組みます。また、若年層の転出抑制、定住促進に向けて、若者や単身者の住まいへの支援や居住の魅力づくりに取り組みます。

政策 目標	若者のU I Jターンを増やす	指 標	若者の社会移動数の改善（20歳～39歳）	目 標	▲61人（▲220人） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
------------------	-----------------	----------------	----------------------	----------------	------------------------------------

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①若者の活躍の場、居場所づくりの推進 ②働く場の魅力向上、住環境等生活面への支援 ③就学時からの地元回帰意識の醸成 ④U I Jターンに向けた「きっかけ」づくりと受入れ体制の強化	①起業家育成支援事業 ②若者・女性採用企業応援プロジェクト ③自分の未来を描く出前授業 ④民間賃貸住宅居住補助金制度（新） 民間賃貸住宅建設補助金制度（新） 移住・定住推進事業 南砺と繋がるコミュニティ形成事業 桜ヶ池周辺活性化事業（新）

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	新規就職者数	150人（120人）
	住宅着工件数	110件（72件） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
	市外からの移住者数	230人（202人） （ ）内数値：2023（R5）年度数値

(2) 誰もが暮らしを楽しめる生活環境の充実（公共交通・小規模事業者支援）

【現状と課題】

- ・交通弱者への支援が必要
- ・公共交通利用者が減少し、交通サービスが縮減する悪循環への懸念
- ・魅力ある商品や店舗の充実が必要

【今後の方針】

城端線や市営バスなど公共交通の最適化を図り、誰もが移動しやすく持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。また、魅力ある商店・商品づくりによるおでかけ意欲の向上のほか、D X技術の活用による生活の利便性向上等を通じて、暮らしやすく快適で便利なまちづくりを推進します。

政策	市内での消費額を増やす	指標	域内消費額	目標	2,069億円（1,881億円） （ ）内数値：2018（H30）年度数値
-----------	-------------	-----------	-------	-----------	--

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①城端線再構築等による公共交通の利便性向上 ②「行きたくなるお店」への取組支援 ③D Xの活用による生活の利便性向上	①公共交通網の最適化 南砺版公共ライドシェア事業（新） ②空き家・空き店舗利用促進事業 南砺ブランド商品開発支援事業 ③地域内資金循環システム構築事業（新）

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 （ ）内数値：2024（R6）年度調査
	公共交通の利用者数（市が運営する移動サービス＋民間路線バス）	220,000人（190,910人） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
	公共交通機関の利便性に不満を感じていない市民の割合	55.0%（47.8%）
	市内で買い物をする市民の割合	57.0%（51.9%）

(3) 地域の活力を支える産業の発展（商工業・観光業・農林業支援）

【現状と課題】

- ・市内企業の閉鎖が増加している
- ・事業者の後継者問題
- ・市内高速道路 I C 等を活用した企業誘致が必要
- ・裾野が広い観光産業の強化と高付加価値化が求められている
- ・プレイアースパークの開業などによる交流人口の増加、地域経済の活性化が見込まれる
- ・農業者の高齢化や後継者不在による耕作放棄地の抑制を図り、持続可能な農業が求められている

【今後の方針】

本市が将来においても活力と魅力を維持し、市民や企業が安定した収入を得られ、地域が持続的に発展していくために、後継者問題の解決や企業誘致等による産業の振興に努めます。また、観光資源を活用した「持続可能な地域経営」を推進するとともに、農林業やブランド商品、観光サービスの高付加価値化を目指します。

政策	市民の所得を増やす	指	平均所得	目	311 万円（283 万円）
目標		標		標	（ ）内数値：2023（R5）年度数値

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①既存産業等の成長への支援	①伝統的工芸品後継者育成支援事業
②市内企業の定着・地域特色を活かした企業誘致の促進	小規模事業者後継者育成支援事業
③観光資源の魅力向上と、それらを活用したまちづくりの推進	事業承継・継業促進事業
④地域の存続を目的とした農業支援と地場産品の魅力を引き出すブランディング	②企業立地奨励事業
	③観光誘客推進に向けた広域連携事業
	南砺市外国人観光客受入環境整備事業
	地方創生道整備推進交付金事業
	④スマート農業事業
	集落営農再生塾事業
	オーガニックスクール事業

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値
		（ ）内数値：2024（R6）年度調査
	製造品出荷額	2,305 億円（2,094 億円） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
	市内宿泊者数（延べ）	71,500 人（65,007 人） （ ）内数値：2023（R5）年度数値
	農業産出額	75.6 億円（68.8 億円） （ ）内数値：2022（R4）年度数値

4. 皆で考えともに行動するまち

(1) 南砺の暮らしへの誇り・愛着の醸成（シビックプライド（※））

【現状と課題】

- ・「愛着・誇り」「継続居住意向」「南砺市を知人等に勧めたい」の3指標が減少傾向
- ・50代以上の年代で地域の愛着・誇りを感じる市民の割合が低い傾向
- ・大人も「地域」を学びながら、いきいきと活躍している姿を見せることが必要
- ・生活する人々が楽しみながら関われる地域（まち）づくりが必要

【今後の方針】

本市を選んでもらい、いつまでも住み続けてもらうために、あらゆる世代が自分のふるさとを知り、学ぶ機会を創出することで、地域住民の郷土愛の醸成を図ります。また、昔ながらの町並みや地域固有の景観・文化を保全・継承し、南砺を誇りに思える地域づくりを進めます。

政策目標	南砺市に誇りや愛着を感じる人を増やす	指標	南砺市や地域に誇りや愛着を感じる市民の割合	目標	70.0% (64.7%) () 内数値：2024 (R6) 年度調査
-------------	--------------------	-----------	-----------------------	-----------	---

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①文化・伝統を学び、体験する機会の充実と魅力発信 ②南砺市の魅力の再発見と発信 ③地域特性が生かされた景観保全の推進 ④文化芸術活動の担い手育成	①ふるさと教育推進事業 市民大学講座 ②なんと自然給食ものがたり事業 地場産農作物消費向上事業 伝統文化映像アーカイブ事業 ③散居景観保全事業 景観づくり住民協定等推進事業 ④文化芸術振興団体育成事業

K P I (個別の達成目標)	指標名	最終年（2029 (R11) 年）の目標値 () 内数値：2024 (R6) 年度調査
	住み続けたいと思う市民の割合	70.0% (65.2%)
	自信を持って紹介できる文化や景観があると回答した市民の割合	90.0% (86.4%)

(※) 住民の地域に対する愛情・誇り。

(2) みんなが参加しとにも取り組むまちづくり

【現状と課題】

- ・まちづくりイベント等の参加者数は増加傾向
- ・関係人口の創出のほか、若者と地域のつながりの強化が必要
- ・地域の課題に取り組む人材育成が必要
- ・空き家に関する取組や対策への関心の高まり
- ・地域活動における住民の移動手段の不足

【今後の方針】

高校生や若者と地域・行政との結びつきを広げ、若者を含む市民のまちづくりへの参加意識の向上に努めるとともに、小規模多機能自治による地域活動の活性化と地域力の底上げのほか、地域づくりを担う人材育成への支援を行います。また、地域の課題を適切に把握したうえで、関係人口の創出・拡大を図りながら、多様な人々が関われるまちづくりを目指します。

政策 目標	まちづくりに参加 する人を増やす	指 標	自らまちづくりに取り 組む市民の割合	目 標	60.0% (42.0%) () 内数値：2024 (R6) 年度調査
----------	---------------------	--------	-----------------------	--------	---

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①市民と行政のコミュニケーションの強化 ②地域づくりを担う人材育成及び人材育成組織への支援 ③様々な主体が連携するまちづくりへの支援 ④地域課題解決と新たな地域実践活動への支援 ⑤二地域居住の推進 ⑥空き家対策の強化 ⑦地域で支えあって移動できる仕組みづくり	①住民自治推進交付金事業 ②旧福光高校活用事業 高校生アントレプレナー（※）育成事業 グローバル人材育成事業（新） ③地域住民主体のまちづくり活動支援事業 庁舎跡地を活用した住民主体のまちづくり事業 なんと未来創造塾開催事業 ④若者ネットワーク事業 市民活動伴走支援体制強化事業（新） ⑤二地域居住支援事業（新） ⑥空き家バンク活用促進事業 ⑦地域の支え合いによる移動サービス事業（新）

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 () 内数値：2024（R6）年度調査
	地域を良くする活動に参加したい、関わりたい 気持ちがあると回答した市民の割合	向上させる
	セミナーやワークショップ等への参加者数	750 人（540 人） () 内数値：2023（R5）年度数値
	地域づくり協議会が地域課題解決のために取り 組む事業件数（指定事業＋自由提案事業）	38 件（27 件）

（※）何も無いところから起業を目指す人。

(3) 内外に向けた効果的な魅力の発信（シティプロモーション）

【現状と課題】

- ・「知られていない」ことが南砺市のまちづくりの最大の課題
- ・近隣市における南砺市の認知度の低さ
- ・魅力ある地域資源が十分に活用されていない
- ・南砺市HPが見にくいほか、SNSの発信が弱い

【今後の方針】

市の魅力や取組を市内外に向けて集約的かつ戦略的に発信するとともに、知りたい情報が簡単に取得できる環境を整えることで、本市に関心や憧れを持ってもらい、「このまちをもっと魅力的にしたい」「このまちをもっと知りたい」「このまちを訪れてみたい」と感じる人を増やします。

政策 目標	南砺市の情報を活用する人を増やす	指 標	南砺市が発信している情報 を利用している市民の割合	目 標	82.0% (78.4%) () 内数値：2024 (R6) 年度調査
----------	------------------	--------	------------------------------	--------	---

施策の内容	やるべきこと（主な具体的事業）
①内外へ向けての統一的・効果的なシティプロモーションの推進 ②情報共有基盤の集約、強化	①シティプロモーション戦略推進事業（新） 官民連携による人材の活用事業（DX） ②SNSを活用した魅力発信事業（新）

K P I （個別の 達成目標）	指標名	最終年（2029（R11）年）の 目標値 () 内数値：2024（R6）年度調査
	南砺市HPの閲覧数（アクセス数）	170 万件（111 万件）
	南砺市公式SNSの登録者数	9,600 人（1,350 人）
	応援市民登録者数	1,750 人（1,220 人）

南砺平高校の全国募集状況について

総合政策部政策推進課

1. 概要

2018年以降定員割れが続く中、地域として高校を存続させることで文化の継承及び今後の人材確保に繋げることを目的として令和7年度入学生から全国生徒募集を開始した。定員6名に対し6名が入学した。R8年度についても6名募集を予定している。

R7生徒数 全校生徒 60名
1年生 21名（うち全国募集6名）
2年生 17名
3年生 22名

2. 県外生徒の生活

平日…生徒寮
土日その他休日…地域で下宿 現5軒

3. 募集活動

地域、富山県及び南砺市が協力して東京・大阪での募集フェス、オンライン説明会等で生徒の募集を行っている。また、併せて下宿先の募集も行っている。



南砺平高校



募集フェスの様子

南砺市の概要

人口：47,343人（令和5年4月末現在）
面積：668.64平方キロメートル（琵琶湖とほぼ同じ面積）
・東西約26キロメートル ・南北約39キロメートル

8割を白山国立公園等を含む森林が占め、岐阜県境に連なる山々に源を発して、庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。

また、市北部の平野部では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。

年平均気温：13.1℃
月平均気温：1.7℃（1月）～25.3℃（8月）の範囲
日照時間：年1454.5時間（1987～2010の平均）
降水量：年2530.7mm（1981～2010の平均）

世界文化遺産 五箇山合掌造り集落

平成7年（1995）五箇山合掌造り集落（菅沼・相倉）は、岐阜県白川郷とともに、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。冬の豪雪に耐え、養蚕や塩硝生産の場にもなる住まいとして発達した合掌造り。厳しい風土に根ざした暮らしを守る合掌屋根の葺き替えは、現在、地元と森林組合が受け継ぎ、日本の原風景を伝える貴重な屋根を守っています。



五箇山の雪持林（オーバエ）

豪雪地帯である五箇山には、集落を雪崩から守る樹林地「雪持林（ゆきもちりん）」があります。地元では「オーバエ」と呼び、伐採を禁じて大切に守ってきました。ブナ・トチ・ミズナラなどの原生林には、森の生態系が残され、相倉集落、菅沼集落では国指定史跡の範囲に含まれ保護されています。



五箇山和紙

五箇山地域では古くから楮（こうぞ）を原料として和紙が造られてきました。約400年前、加賀藩主・前田利長公へ献上された記録が残っており、現在は「越中和紙」として国の伝統的工芸品に指定。全国の文化財補修などに欠かせない紙として知られ、また強く優美な風合いを生かして、インテリアなどにも幅広く使われています。



五箇山の特徴

五箇山の郷土芸能

五箇山地方は、民謡の宝庫です。この地に隠れ住んだ平家の人々が、栄華をしのび唄い踊ったという「麦屋節」。古代の田楽が発祥とされ、独特の楽器「ささら」を鳴らし舞う「こきりこ」。村人の暮らしに根ざしたユーモラスな「といちんさん」など。勇壮かつ優美に、また素朴に…魅力多彩な民謡や踊りが、時を超えて愛され伝承され続けています。



五箇山麦屋まつり

毎年9月23・24日に平地・下梨地主神社境内で開催。平家の落人が妻を判りながら、都をしのんで唄ったのが始まりとされる「麦屋節」の唄にのせて、紋付・袴・白たすき、腰に刀をさし、笠を手にした若衆の勇壮な舞いが披露されます。正調麦屋節のご自慢コンクールや獅子舞、舞台競演、総踊りなど、観客も一緒に楽しめます。



五箇山豆腐

富山の大豆と五箇山の澄んだ水を使い、昔ながらの製法で作られる堅豆腐。縄で縛って運ぶその堅さは、「寝るときに枕にした」「つまずいて生爪をはがした」などの例え話が伝わるほど。大豆の風味と栄養が凝縮された素材で豊かな味わいは、報恩講をはじめ正月や春秋の祭りなど、地域のおもてなし料理に欠かせません。



たいらスキー場

コンパクトながら各レベルのコースが一通りそろっている、ビギナーからベテランまで楽しめるオールラウンドなゲレンデです。富山県高校総体スキー競技や富山県民スキー大会などの各種大会の会場になりました。近隣には、全日本スキー連盟公認の「たいらクロスカンтриーコース」や北陸初の「ローラースキー専用コース」があります。



富山県立高校初/
新入生 全国 募集開始!!
第1期
令和7年度

Nanto.
Taira
High School

ご か や ま
「五箇山から世界へ、
そして未来へ」

【全国募集の趣旨】

- ・南砺平高校は、在籍生徒数64名（R6.4月時点）の、県内で最も生徒数の少ない県立全日制高校です。
- ・世界遺産・合掌造り集落のある五箇山（ご か や ま）地域で、少人数教育や伝統・自然を教材とした特色ある学習活動に取り組んでいるほか、スキー部や郷土芸能部は全国レベルで活躍するなど、活気ある学校生活を送ることができます。
- ・地域の皆さんの温かいご協力により、平日は生徒寮で週末等は下宿で、県外生徒の受け入れを行います。
- ・魅力と活力あふれる南砺平高校で、一緒に学んでみませんか？未来へはばたく皆さんをお待ちしています！

なんとたいら
富山県立南砺平高等学校
全国募集パンフレット

募集定員
6人

交通案内

【鉄道利用の場合】

東京から 4時間

大阪から 4時間30分

名古屋から 4時間40分

【車の場合】

東京から 6時間20分

大阪から 4時間20分

富山県立南砺平高等学校

〒939-1912 富山県南砺市大島1203

TEL: 0763-66-2146 / FAX: 0763-66-2112

富山県教育委員会県立高校改革推進課 TEL: 076-444-3429

南砺市政推進課 TEL: 0763-23-2052

（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム 地域みらい留学

南砺平高校 全国募集HP

地域みらい留学HP



わくわく が待っている なんとたいら 南砺平高校



学習のわくわく

少人数授業

習熟度別、選択別、男女別など
科目の特性に合わせて少人数で展開

多彩な選択科目

基本科目の他に、学校設定の「国語読解」
「基礎数学」「数学研究」「英語実践」なども

地域をフィールドにした探究学習

「五箇山探検」と称して、各学年が地域に出て学びます
R5の1年生は「世界遺産の合掌造り研究」
2年生は「五箇山の魅力発信 映画制作」
3年生は「空き家活用 Book∞Caféすけろく」

「地域に愛され、地域に
貢献する」平高生を
探究学習を通して実現!



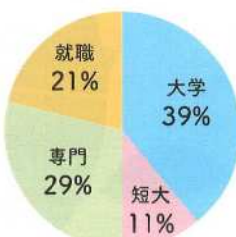
【一日の校時】
46分×7限で放課後の時間を確保
3年の補習・個別指導や、
部活動・生徒会活動などが充実

朝学習	8:10~8:20
S T	8:20~8:30
1 限	8:35~9:21
2 限	9:30~10:16
3 限	10:25~11:11
4 限	11:20~12:06
給 食	
5 限	12:55~13:41
6 限	13:50~14:36
7 限	14:45~15:31
清 掃	15:35~15:45

進路もわくわく

- ・多様な進路に対応
- ・マンツーマン(?)指導

一人の生徒に、教科・小論文・面接・実技毎に、複数の先生が付いてくれることも



過去3年間の進路状況



部活動+ 学校行事でわくわく²

部活動

郷土芸能部

- ・地元五箇山に伝わる民謡を伝承
- ・かごしま総文2023優良賞
- ・全国高総文祭最優秀賞・文部科学大臣賞を3回受賞(2022・2014・2006)
- ・全国高総文祭優秀校東京公演(国立劇場)出場回数は全国一(11回)

スキー部(クロスカンтриー・アルペン)

- ・令和5年度全国高校総体 第73回全国高等学校スキー大会
女子3×5kmリレー5位入賞、男子4×10kmリレー11位
- ・全国高校総体全国高等学校スキー大会
男子リレー入賞5回、女子リレー入賞8回
- ・北京オリンピック日本代表を輩出



男子バレーボール部

・春高バレー出場歴あり!

学芸部

・茶道、美術、書道、映画など

五箇山ガイド研究会(GGS)

・日本語と英語でガイド



学校 行事

一人一役で全員が活躍!

小中高合同運動会
学園祭 文化発表会
球技大会 マラソン大会

スキー・スノーボード教室
百人一首大会 弁論大会
台湾修学旅行(2年)
茅刈体験 冬支度 など多彩

生徒寮でわくわく

生徒による自治を大切にしています



閉寮日は地域の家庭で下宿になります。
下宿費用に付して、市から月額3万円の補助があります。
※条件あり

- ・二人部屋でルームメイトができます
- ・大きな浴槽のお風呂にゆったりつかれます
- ・洗濯機・乾燥機を使って自分で洗濯します
- ・栄養士さんが考えてくださるバランスのよい食事も、自分たちで配膳します
- ・部屋や食堂での寮生同士のおしゃべりが楽しい



生徒会長からの わくわく³ メッセージ



R6前期生徒会長 池田 瑞月

「南砺平高校」という名を耳にしたことがある人は少ないでしょう。こんな田舎で、生徒数も少ない学校を知っている人なんていないですよ!しかし「五箇山」や「合掌造り」なら、ほとんどの人が知っていると思います。なんと平高は、あの世界遺産合掌造り集落で世界的に有名な五箇山にあるのです。五箇山を訪れたことのある人ならわかると思いますが、自然が豊かという言葉では言い足りないほど緑が多く野生動物もたくさんいます。学校の敷地内にカモシカが出ることもあります。動物が大好きな方や虫好きにはお勧めの学校です!でも、私が特に勧めたいのは、ここにしかない「五箇山探検」という授業を受けられる事です。「探検」という言葉を知って、テーマを決めてひたすら実践!とか、社会問題を解決するには!などという印象が強いかもしれませんが、しかし五箇山探検は一味違います。一年次は、合掌造りの屋根用の茅刈りや五箇山民謡などを体験する、五箇山を知る活動を行います。ここまでは探検の入り口です。二年生になってから面白くなってきます。先輩たちは五箇山の空き家を改造してブックカフェにしました。私たちの学年も五箇山を舞台にした映画を制作して、全国大会で優秀作品賞を受賞してしまいました。ほかの学校では部活でやるようなことを、学年全員で授業として行ったのです。私はこの経験を一生忘れないと思います。このように、平高校ではきっとこの先体験できないようなことができます。人数が少ないからこそできることだと思います。あなたも、南砺平高校に来て、生涯の思い出に残ることをしませんか?

南砺平高校では令和8年度も県外生徒を受入れます！

下宿先募集

ご近所でサポート体制を組んでの受入れ也大歓迎！！



平高校は、令和7年度から全国生徒募集を開始し、6名の県外生徒が入学しました。令和8年度の募集に向け、県外生徒が生徒寮の閉寮期間に滞在する下宿先を募集しています！少しでもご興味のある方はぜひご連絡ください。

下宿期間

生徒寮閉寮期間（金の夜・土・日・月の朝、祝日・長期休暇）
※お盆及び年末年始は県外生徒は実家へ帰省することを想定しています。

下宿費

1名当たり 月額5万8千円（光熱水費・食費を含む）
※2名受け入れの場合 $58,000円 \times 12か月 \times 2人 = 1,392,000円/年$

内容

居室と1日3食の提供、体調不良時の対応 など

受け入れ人数

1軒につき1～2名を想定

市からの補助

生徒1名につき25万円の協力金を支給
※受け入れ決定後、市から下宿先へ定額25万円の協力金を支払います。
※エアコン・Wi-Fi・勉強机・衣装ケース・寝具・鍵の取り付けなど下宿の環境整備にご活用ください。

※詳しくは裏面をご覧ください。

お問合せ
【個別相談受付中】

南砺市政策推進課（担当 山下）

TEL：0763-23-2052（土日祝：080-2588-1916）

FAX：0763-52-6338 E-mail：seisakusuishinka@city.nanto.lg.jp

南砺平高校への県外生徒の下宿先を募集します

南砺平高校では、少子化等により近年定員割れが続いています。そのため、全国から生徒募集を行い、高校の活性化を図っていくこととしています。

地域としても、地域のにぎわいや伝統文化の継承などにつながることから、生徒寮が閉じている期間に県外生徒を受け入れいただける「**下宿先**」を募集しています。

子どもたちと地域の未来に、ぜひご協力ください。

【県外生徒の受入れ体制】

		月	火	水	木	金	土	日
食事	朝	下宿	寮				下宿	
	昼	学校					下宿	
	夜	寮				下宿		
宿泊先		寮				下宿		

県外生徒は金曜日の放課後に下宿先に帰り、金曜日の夜から、土曜日、日曜日、月曜日の朝まで下宿先で過ごします。月曜日の朝食後に下宿先から登校し、次の金曜日の朝まで寮で過ごします。

【生活について】

生徒の健康・安全面に配慮をお願いします。

食事

下宿中は、1日3食

部活等で弁当持参の必要がある場合、ご対応をお願いします。

掃除・洗濯

部屋の掃除や片付けなど、生徒の身の回りのことは生徒自身が行います。

洗濯も洗濯機をお借りして生徒自身が行います。

送迎

休日の部活動の送迎など

体調不良時の対応

体調不良の場合は、医療機関への受診、保護者への連絡、下宿先での療養などの対応をお願いします。

南砺市地域おこし協力隊の杉山です！
高校の全国募集の業務を行っています。
下宿や県外生徒のサポートも行います！



こちらのQRコードからも
応募していただけます



後日個別相談を行いますので、少しでもご関心がある方は、右側のQRコード、
または表面のお問合せ先に電話やメール、FAXでご連絡ください。

青池学園（通信制高校）開校以降の状況について

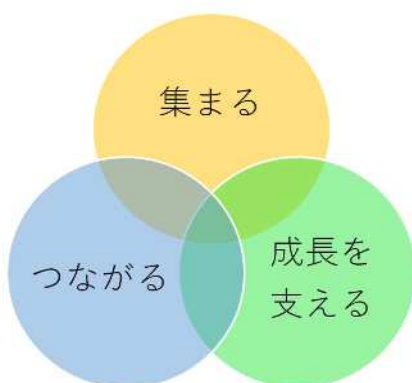
令和7年5月
南砺市政策推進課



1

旧福光高校を「南砺市人材共創拠点」へ

～「学ぶことが楽しい」を実現し、「つながりを感じられる」場～



こども・若者が集まる場（出会う）

学校ではない第3の居場所

こども・若者の成長を支える場（学ぶ）

非認知スキルを育む、挑戦するマインド、グローバル人材育成

こども・若者と大人がつながる場（実践する）

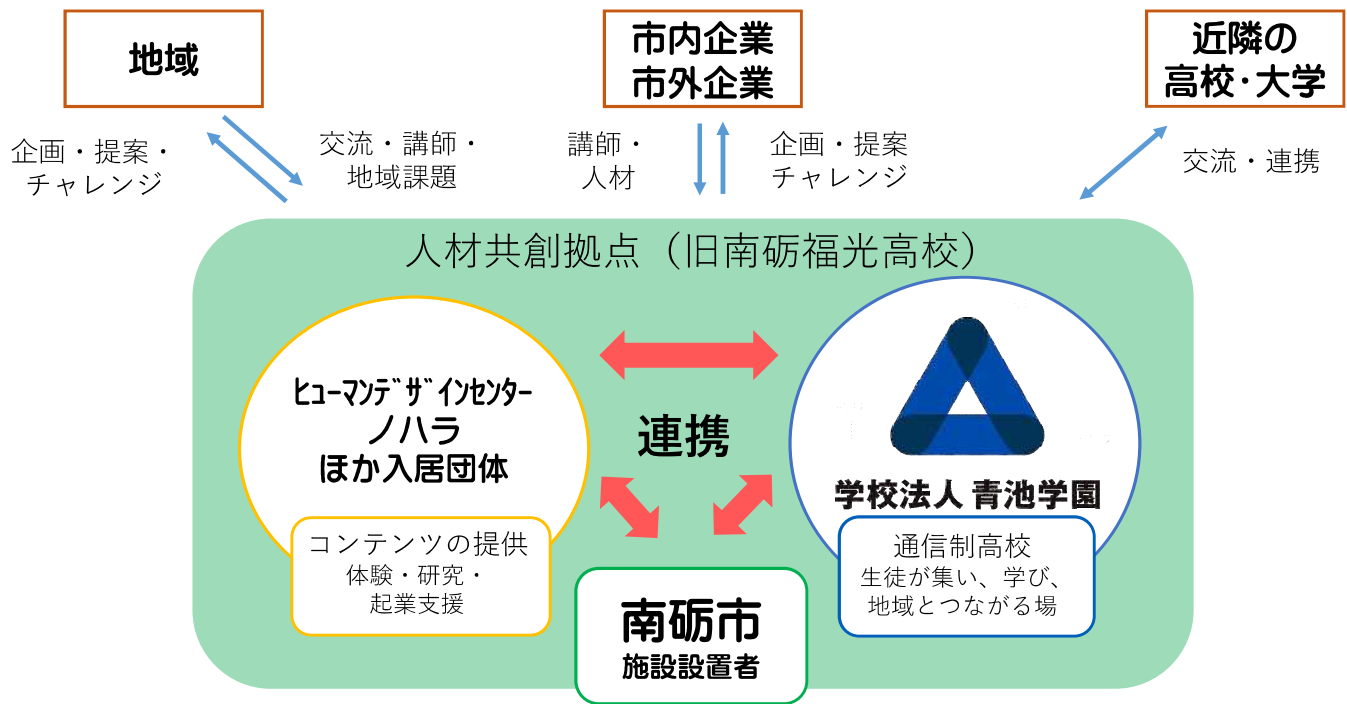
地域や事業者とをつなげ、実践につなげる



**出会い、学び、実践につながる
魅力的な人材共創拠点に**

2

南砺市人材共創拠点 の概要



南砺市は人材共創拠点に管理者を置き、**青池学園と連携**し、
多様な主体とつながる魅力的な学びの場を構築

3

AOIKE高等学院南砺福光（R6.4～）

教育方針「一人ひとりが輝く未来に 教育で社会を豊にする」

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
フリースクール（10代の第3の居場所、中高生の学習支援）			
サポート校（AOIKE高等学校と連携した高校卒業のための学習支援）			
野球部の創設、始動 全国から生徒を募集、南砺で寮生活しながら甲子園を目指す			
教員2名、生徒数名	教員5名、生徒10名	教員6名、生徒30名	教員6名、生徒50名～／年
スクーリング（高卒の必修単位を1週間かけ取得）250名／年			

南砺から全国に、なんと世界へ！

7名

SPORTS

国際的な視野を養い、身体づくりを学ぶ
スポーツアスリートコース

25名募集

3名

GLOBAL

国際的な視野を養い、グローバル化に対応する
グローバルコース

25名募集

ART

地域の伝統と芸術スキルを学び、個性を磨く
クリエイティブコース

25名募集

BASIC

基礎学力とコミュニケーション能力を高め、進路につなげる
ベーシックコース

25名募集

令和7年4月 授業の様子

4

令和 7 年 5 月 20 日
第 1 回 総合教育会議
医療課

「災害時のこどものこころのケア研修会」について

1. 目的

能登半島地震では、災害に対するこどもの対応に、保護者の方だけでなく、学校・保育園など、こどもを預かる施設の方々もその対応には苦慮したとの声が多かった。一般的にも災害に被災したこどもが受ける精神的ダメージは大人より大きいといわれており、こころや身体の不調が、大人と違った形で現れる傾向があることから、こうした特性を理解した上で、こどものこころのケアを行う必要があると言われている。

南砺市においては、令和 7 年度以降も「こどものえがおクリニック」の臨床心理士の助言をいただきながら、「災害時のこどものこころのケア研修会」を企画しており、学校関係者の方々に当該研修会への参加を依頼したい。

2. 経緯及び事業概要

令和 6 年度には、「こどものこころのケア」を日本の被災地に留まらず、世界的に実践しておられる、日本赤十字社のこころのケア指導者の森光玲雄臨床心理士を講師に招き、「災害時のこころのケア」をテーマにした講演会を、広く一般向けに開催した。そして、今後はこども向け PFA（Psychological First Aid：心理的応急措置）研修を、災害時に直接こどもに関わる保育園や学校関係者の職員の方々に実施することが必要だとの助言を得た。

この助言にもとづき令和 7 年度以降の研修会を企画し、災害救護研究所と南砺市の共催、セーブザチルドレンの協力で、南砺市「こどものえがおクリニック」の臨床心理士にも協力いただきながら、こども向け PFA を教職員や保育士等を主な対象者として実施することとしたい。

3. 今後のスケジュール

当該事業は令和 7 年度予算新規事業として計上しており、2 回の研修会を予定している。

第 1 回は「子ども向け PFA 研修」を 8 月 8 日（金）に実施予定。1 日研修で、市内小中学校関係者から養護教諭と保健主事約 30 名、保育士等から 30 名、約 60 名の参加を想定。

第 2 回は「災害時こどもの遊び場づくり研修（仮）」を 11 月 16 日（日）に実施予定。半日研修を午前・午後に実施、避難所設営に関わる人を広く一般から募集し、1 日で約 60 名の参加を想定。

未定稿

子どものための 心理的応急処置

参加費無料

(子どものためのPFA) 研修

開催日 2025年8月8日(金)

時間 9:30~16:45 (開場 9:00)

会場 南砺市地域包括ケアセンター 多目的研修室
南砺市北川166-1

対象 小中学校職員(養護教諭と保健主事等約30名)
及び、保育士等(約30名)



講師

(調整中) 先生

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

もりみつ れお

森光 玲雄 先生

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所
心理社会的支援部門長



災害などの緊急時に、こどもの
ここを傷つけず対応する
ために、「見る・聴く・つなぐ」の
行動原理を基本とした、こども
のここの応急手当てを学び
ます。

お申し込みは
こちらから→



※ 講演会参加は事前登録をお願いします。

お問い合わせ先 0763-23-1003
(南砺市医療課)



-市誕生 20 年企画教育フェスティバル報告書-

南砺で育っ子どもたち

NANTO
20th
ANNIVERSARY
南砺市 誕生20年

日時：令和6年11月23日（土・祝） 場所：福野文化創造センター ヘリオス



目次

1. リーフレット	2-5
2. 各学校報告書	
井波小学校	6
城端小学校	7
上平小学校	8
福野小学校	9
福光中部小学校	10
福光南部小学校	11
福光東部小学校	12
南砺つばき学舎	13
利賀学舎	14
井波中学校	15
城端中学校	16
平中学校	17
福野中学校	18
福光中学校	19
吉江中学校	20
3. 当日写真集	21-24

— 市誕生20年企画教育フェスティバル —

NANTO
20th
ANNIVERSARY
南砺市 誕生20年

南砺で育っ子どもたち

(含：第21回南砺市社会教育推進大会)

持続可能な「一流の田舎」を目指す南砺市。
そんな南砺市で育つ子どもたちが、一堂に
会してふるさと南砺への思いを発表します。

日時 令和6年11月23日(土・祝)

場所 福野文化創造センター ヘリオス

メインプログラム

場所：ヘリオスステージ

10:00	開会式
10:15	こどもの権利講演会
	・第1部 講演会〈講師〉西野博之氏 ・第2部 トークセッション& ワークショップ・情報交換 〈登壇者〉西野博之氏 宮田 隼氏 橋爪央樹氏
13:00	第21回南砺市社会教育推進大会(教育委員会表彰)
13:40	小・中・義務教育学校 ふるさと学習発表アピールタイム
14:30~	ふるさと学習発表 (アートスペース・スタジオD/Mにて)
14:30	幼稚園・保育園・認定こども園のステージ発表
16:10	閉会式

幼保こども園 プログラム

場所：ヘリオスステージ

1	認定こども園 福光青葉幼稚園	・組体操と踊り 「ちきゅうのこども」
2	福光東部 かがやき保育園	・ぼくたち わたしたちのできる SDGs ・歌 「SDGsのうた」 ・踊り 「あおきいろ」
3	寺子こどもえん	・生活発表 「こころとからだ 大きくなあれ」
4	城端さくら保育園	・歌 「城端祭のうた」
5	喜志麻保育園	・伝統の獅子舞の演舞
6	福野おひさま保育園	・手遊び 「福野よいとこの歌」 ・体操 「ほっとあっとなんと体操」
7	認定こども園 福野青葉幼稚園	・ダンス&体操 「心も体も元気! 元気!! 元気!!!」
8	井波にじいろ保育園	・踊り 「木彫り音頭」

同日
開催

第39回

福野の
里いもまつり

【会場】

ア・ミュー広場 (販売コーナー)

ア・ミューホール (ステージアトラクション)

販売コーナー

● 9:30~15:00
里いも、里いも汁、里いもごはん、
里いもスイーツ、特産品など販売

ステージアトラクション

● 10:00~14:00
福野ひまわり保育園、キャリーズ、
福野小学校管楽器クラブなどの出演
福野小学校5年生の里いもPR動画など



【主催】 南砺市教育委員会

【協賛】 日の出屋製菓産業(株)・北陸電力(株)・明治安田生命保険相互会社
南砺市立図書館納入組合・山本紙茶店

1階

男女共同参画カルタ展示

皆さんから募集したカルタの受賞作品を展示します。

総合受付

KNBラジオ 5時間耐久ラジオブース

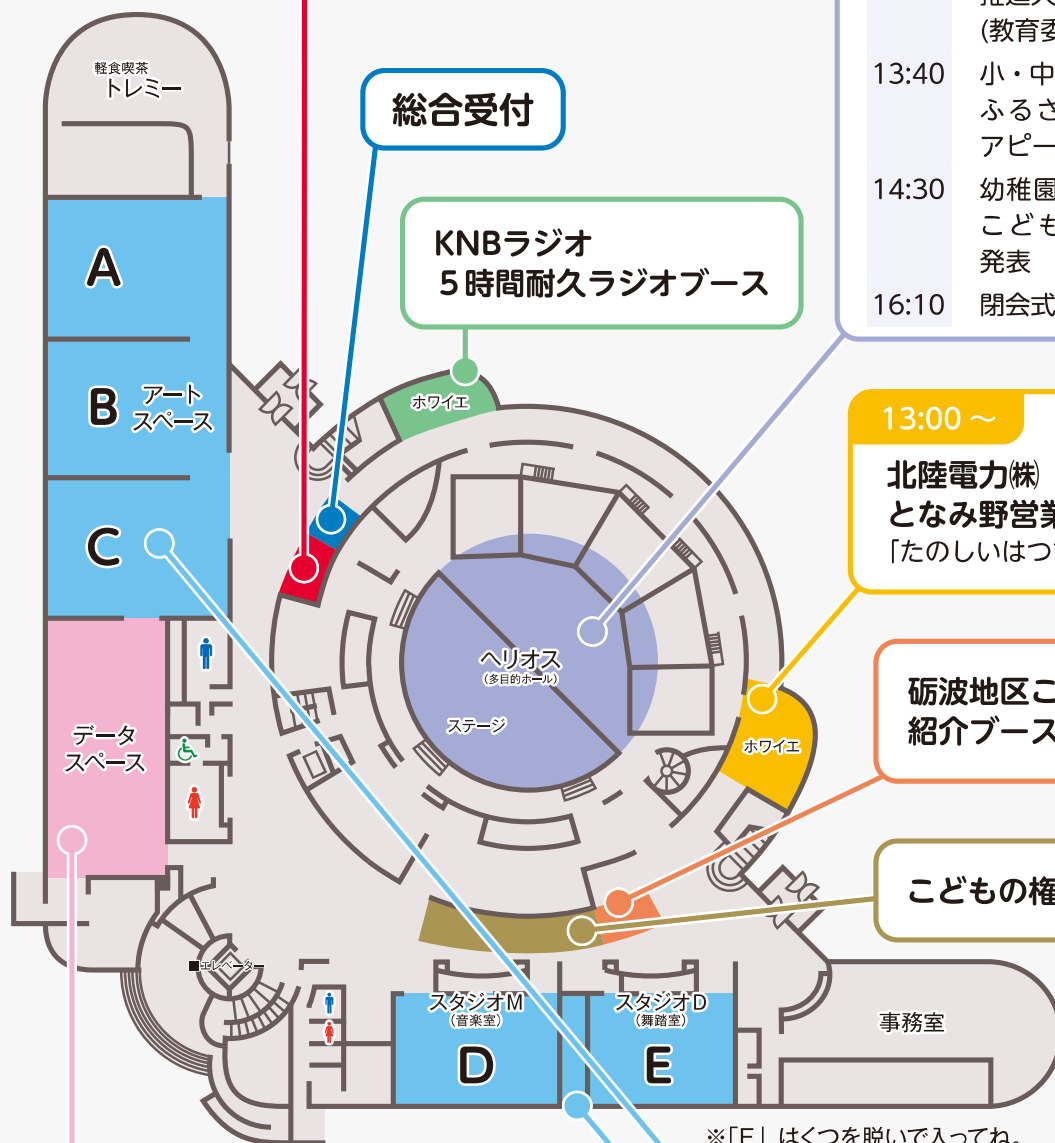
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 10:00 | 開会式 |
| 10:15 | こどもの権利講演会 |
| 13:00 | 第21回南砺市社会教育推進大会
(教育委員会表彰) |
| 13:40 | 小・中・義務教育学校
ふるさと学習発表
アピールタイム |
| 14:30 | 幼稚園・保育園・認定
こども園のステージ
発表 |
| 16:10 | 閉会式 |

13:00 ~

**北陸電力(株)
となみ野営業所ブース**
「たのしいはつでんきょうしつ」

**砺波地区こどもの居場所
紹介ブース**

こどもの権利紹介ブース



市民大学講座や、子ども体験活動の作品展示 社会教育各種団体の活動記録の展示

- ・ なんと陶芸講座 作品展示
- ・ いなみ木彫りの講座 作品展示
- ・ 南砺市民大学講座、緑の里講座 作品展示
- ・ 子ども体験活動 作品展示
- ・ 南砺市内31地域づくり協議会 生涯学習活動紹介
- ・ ふくの少年ハーティークラブ 活動紹介
- ・ 青少年育成南砺市民会議 活動報告
- ・ 福野縞アート作品等展示

14:30 ~ 16:00

ふるさと学習発表

南砺市では、「ふるさと南砺を誇りに思う教育」として「ふるさと学習」を推進しています。

今年度の「ふるさと学習」で分かったことや学んだことについて、小・中・義務教育学校の代表者が5つのブースに分かれて発表します。

発表場所・時間はプログラム欄をご覧ください。

2階

図書館の取組紹介

- ・すべての市民に図書館を
- ・南砺市立図書館 共通利用カードを作りませんか？
- ・より便利でより楽しい新しい南砺市立図書館へ

図書館のイベント情報

・おはなし会	10:00～10:30
・クイズラリーでビンゴ！	10:30～16:00
・読書がより楽しくなる 本のおとも作り	13:00～16:00
・子ども雑誌リサイクル市	10:00～16:00

10:30 ～ 12:30

SDGsカフェ

富山国際大学の学生が南砺市内事業所での地域づくり実習の成果を発表！
大学生と意見交換しませんか？

13:00 ～ 16:00

SDGsコーナー

・SDGsクイズ
・SDGsルーレット、パチンコ
楽しくSDGsを学びましょう！

13:00 ～

こどもの権利委員会 こども部会コーナー

- ・射的
- ・ぷよぷよボールすくい
- ・おかしつかみ

13:30 ～ 15:30

手づくりおもちゃ
傘ぶくろと紙コップで
傘ぶくろロケットを
作ろう！



母子保健推進員連絡協議会

福野図書館

エレベーター

芝水庵
(茶室)

セミナー
ルームC

セミナー
ルームA

セミナー
ルームB

ミーティング
ルーム

13:00 ～

高校生プロジェクト

プラ板コーナー (1回100円)
好きなイラストをキーホルダー
にしよう

「なんと未来創造塾」シェア
南砺市のかっこいい大人を紹介
します

ボクなんグッズ販売

ぬいぐるみやボトル、ポーチな
ど高校生が企画した「なんとく
んグッズ」を販売します。

13:30 ～

「こども家庭センター スマイルなんと」& 「なんとHug」 紹介コーナー

こども、妊産婦、子育て家
庭のみなさん！
相談したいときに利用できる
窓口についてご存じですか？

「こども家庭センター
スマイルなんと」
「なんとHug」
を紹介します♪



13:30 ～ 15:30

健康チェックブース

南砺市民健康プラン【第3次】策定
南砺市合併20周年記念イベント

家族みんなで
生活習慣を
見直そう！

健康チェック ブース

ご家族で、お友達と、あなたの健康チェックに挑戦！

体組成

筋肉量・体脂肪率
内臓脂肪・骨密度

体内糖化度 (AGE)

血圧

推定野菜摂取量 (ベジチェック)

主催 南砺市健康課 お問い合わせ ☎0763-23-2027

体組成や血圧測定、また、明
治安田生命の地域貢献事業に
よるベジチェック・AGEs測
定を実施します。

ふるさと学習発表 プログラム

●各校は2回発表します。(発表7分、質疑応答3分) ●ブースの移動は、発表間をお願いします。

①14:30~14:40 ②14:43~14:53 ③14:56~15:06 (発表間 各3分)

④15:15~15:25 ⑤15:32~15:42 ⑥15:49~15:59 (発表間 各7分)

場所	ブース	時間	学 校 名	学 年	発 表 内 容
アートスペース	A	① ④	井波小学校	3 学年	井波のおたから発見! 井波には、どんなすごいお宝があるか、みなさん知っていますか?わたしたちは、井波のすごいお宝をさがすだけでなく、楽しくてすごいお宝をつくることにしました!お宝いっぱい井波を南砺市のみなさんに紹介します!わたしたちのお宝情報を聞いてください!
		② ⑤	上平小学校	5,6 学年	見付けよう!伝えよう!五箇山の食 私たちは、五箇山の食の魅力を伝えようと、生産者の方にインタビューをしたり、特産品「ぼべら」を育てたりしました。2学期には、収穫した「ぼべら」でマフィンを作り、全校児童やお世話になった方と一緒に味わいました。今日は、未来に伝えたい五箇山の食の魅力を伝えます。
		③ ⑥	吉江中学校	3 学年	共に生きる~SDGs 私たちにできること~ 私たちの住む南砺市はSDGs 未来都市に選定されています。南砺市に住む一人として、持続可能な地域社会を実現するために、自分たちに何ができるのか、一人一人が課題をもち調査してきました。今日は、その中から「南砺市の人口減少問題」について発表します。
	B	① ④	城端小学校	6 学年	城端の未来に私たちも関わり隊! 私たちは、1学期に「城端の今を知り隊!」で調べ学習をしました。そこから見えてきた課題から、2学期は、もっと城端を盛り上げて、城端の未来に私たちも関わり隊!という思いをもち、様々なチームに分かれて活動を進めています。そんな私たちの地域に対する思いを聞いてください。
		② ⑤	福光中学校	3 学年	共に生きる~SDGs 南砺市の明日をみつめて~ 私たちは南砺市が抱える諸問題をSDGsとしてとらえ、解決方法を考えました。また、調査するだけでなく身の回りからできる取組を実践し、効果を検証しました。今日はその成果を発表し、南砺市の皆さんにもぜひ取り組んでみてほしい実践を紹介します。
		③ ⑥	井波中学校	全学年	井波のよさを再発見 私たちは「井波のよさを再発見」を学校テーマとし、伝統文化や食文化、観光や福祉等、様々な分野から井波を見つめています。今日はその中から、伝統文化と井波地域の新たな取り組みとを関連付けて井波のよさや私たちが井波のためにできることを伝えます。
	C	① ④	平中学校	1 学年	五箇山地域の伝統文化を知り、継承しよう 平中学校では、全校で民謡学習をし、この地域に伝わる大切な伝統文化を受け継ぎ、守っていききたいという気持ちを含めて、地方の演奏や踊りを披露しています。今日は、地域が誇る民謡を紹介するとともに、民謡の継承を持続可能な形にするにはどうしたらよいか、私たちが考えたことを発表します。
		② ⑤	福光東部小学校	6 学年	「幸せ」って何だろう~南砺人の幸福度~ 今年の4月に「消滅可能性自治体」に南砺市が入っていることが公表されました。私たちが大人になっても南砺市がずっと続いていてほしいと思い、南砺市の人口を増やすための政策について考えました。調べる中で南砺市の取組や現状を知りました。今日はそこから自分たちが考えたことを発表します。
		③ ⑥	福野小学校	3 学年	福野のすてきを見付けよう 私たちは、1学期には「福野夜高祭」について調べ、たくさんのすてきを見付けてきました。2学期には「菊」について調べたり、菊を育てたりして、すてきを見付けてきました。すてきを広めるために取り組んできたこと、私たちが考えたことを紹介します。
スタジオM	D	① ④	福光南部小学校	5 学年	おいしいものをつくろう 私たちの校区は、米、野菜、果物などのおいしい農産物の生産が盛んです。私たちは、それらを自分たちで育て、調理することで地域のよさを発見しようと思いました。私たちが発見した地域のよさや地域に対する思いを聞いてください。
		② ⑤	福野中学校	3 学年	南砺市のために私たちができること 私たちが住んでいるこの南砺市を、これからも守り伝承するために、私たちができることを調査活動や体験活動を通して考えてみました。今日はその中から、「南砺市の環境を守るために私たちができること」と「ものづくり南砺市を傳承しよう」について発表します。
		③ ⑥	南砺つばき学舎	1~9 学年	椿で、地域を元気にしよう 1年から9年まで全員で椿栽培をしています。椿を特産にしている伊豆大島との交流を通して南砺市と伊豆大島の違いを知ったり、地域の椿祭りに作品をだしたりしています。椿に関する活動を通して、地域を元気にしたいと思います。
スタジオD	E	① ④	福光中部小学校	4 学年	わたしたち 福光エコ守り隊 私たちは、「福光エコ守り隊」として、一人一人が自分の目標をもって、地域での調査活動や家庭でのエコ活動を行ってきました。2学期は、「エコの輪を広めよう」という思いで学校や地域に向けて活動を進めています。今日はそんな私たちの取組を紹介します。
		② ⑤	利賀学舎	5,6,9 学年	利賀を見つめる~利賀の魅力を紹介しよう~ 前期課程は、50年以上続く武蔵野市との交流について、今年度の交流から感じたことや考えたことを伝えます。後期課程は、利賀の食の魅力を伝えるにはどうすればよいか追究してきました。私たちは何ができるのか伝えたいと思います。
		③ ⑥	城端中学校	3 学年	地域に生きる~なんとSDGsへの提言~ 私たちは20年後の南砺市の姿をイメージしながら、自分たちで決めたテーマに基づいて調査活動をし、南砺市への提言を考えました。また、提言だけでなく、自分たちにできることも考え、実践できることから行動してみようと考えています。これまでの取組をまとめ、皆さんに紹介したいと思います。

井波のおたから発見！

発表の様子



井波のお宝の一つ、
「ししまい」を紹介します！
本物はもっとすごいですよ！
ぜひ見に来てくださいね！

井波にあるたくさんのお宝を知って、
自分たちも井波のお宝を作ることになりました！
その名も「たの・すごイナミ」！
いろいろな人にとっての井波のお宝になるよう、9つのチームに分かれて
たくさんの企画を考えています！



自分が当たり前だと思っていた、
井波の町で聞こえる「のみ」の音、
「井波が大切！」「もっと盛り上げたい！」
と思っている人がたくさんいること、
どれもすごなお宝なんだと分かりました！
これからの「たの・すごイナミ」
にもご注目ください！

参加者の感想・振り返り・気づき等

井波のことをたくさんの人に知ってもらえてうれしかったです。実際に井波のお宝を見に来て、よいところだと感じてくれる人が増えてほしいと思います。

他の学校の発表を聞いて、どの地域でもそれぞれのお宝を大切にしていることが分かりました。これからも自信をもって、井波のお宝を広めていきたいです！

城端の未来に私たちも関わり隊！

発表の様子

1 学期に「**城端の今を知り隊！**」で調べ学習をしました。そこから見えてきた課題から、2 学期は、もっと城端を盛り上げて、**城端の未来に私たちも関わり隊！**という思いをもち、様々なチームに分かれて活動を進めてきたことを紹介しました。

アピールタイムでは、6 年生全員が踊ることができる**むぎや踊り**を披露しました。

城端むぎや祭の踊り手や地方の担い手不足で参加できなくなっている地区があることを知り、未来の踊り手を増やしたいと思い活動しました。



私たちは城端の未来を考える学習を通して、

- ・ **今と未来**だけに目を向けて魅力を発信するのではなく、**城端の歴史にも触れる**ことで、ふるさとを誇りに思える一つになること。

- ・ **城端地域を愛し守ってくださる方**がいること。

の二つに気付きました。

城端の魅力を伝えるポスターやチラシを公共の施設に置いたり、地域の回覧板で回したりして、多くの人に見てもらう活動を続け、私たち自身が地域に興味をもち続けたいと思います。

参加者の感想・振り返り・気づき等

自分たちの取組を多くの人が真剣に聞いてくれたことが嬉しかったです。

自分たちで活動を考え、実行しているところが素敵だと中学生がほめてくれました。これからもできることを続けていきたいです。

他の小学校や中学校の発表を聞き、学校全体で取り組んでいる活動があり、自分たちの地域との違いが分かりました。

見付けよう！伝えよう！五箇山の食

発表の様子



五箇山の食の魅力や特徴をみなさんにぜひ聞いてほしいです。実物もいくつか持ってきたので、見たり触ったりできますよ。

五箇山豆腐はこんな特徴があるんです！



これは「**枺の実パイ**」です。パンフレットも見てください！



参加者の感想・振り返り・気づき等

緊張したけれど、伝えたいことを伝えられたと思います。五箇山の食の魅力が伝わっていると嬉しいです。

五箇山まで食べに来てもらえると嬉しいです。

何を伝えたいかをよく考えて、伝わりやすいように発表できました。他の学校の取組も分かってよかったです。

福野のすてきを見付けよう

発表の様子

総合的な学習の時間に学習した「福野夜高祭」「福野の菊」について、学んだことや考えたことなどを発表しました。



アピールタイムでは、越中夜高太鼓を力強く演奏しました。
福野夜高祭はなんと**370年**もの長い間大切にされてきた祭りです。

今まで南砺の人たちを楽しませてくれた「**南砺菊まつり**」に感謝の気持ちを込めて野小学校3年生のみんなで歌を歌いました。



参加者の感想・振り返り・気づき等

いろいろな人に菊や福野の「すてき」を伝えられてうれしかったです。
福野にたくさん人が来てくれたらうれしいです。

福野の菊や福野夜高祭は長い歴史があるので、もっとたくさんの人に来てもらいたいと思いました。

わたしたち 福光エコ守り隊

発表の様子

わたしたちは、校内や身近な地域にエコの輪を広げる「福光エコ守り隊」となり、一人一人が課題意識をもって活動してきました。自分たちの力で体験し、調査してきたことや工夫しながら発信してきたことをまとめ、発表を行いました。



わたしたちは、「福光のまちは環境が守られているのだろうか」という疑問から、「**福光エコ守り隊**」として地域に出かけ、調査活動をスタートしました。

「ごみ・リサイクル」、「節電・節水」、「食品ロス」、「海洋汚染」という4つの方向から、グループごとに取組を進めてきました。調査したことを基に、校内、そして地域にエコの輪を広める活動を進めました。



「福光エコ守り隊」としての活動



【道の駅での取材】 【校内での呼びかけ】 【ポスター掲示の依頼】 【ごみ拾いと水生生物調査】等

参加者の感想・振り返り・気づき等

小矢部川や学校近くのだまし川へ出かけ、ごみを拾ったり水生生物調査をしたりすることを通して、これからは生き物を守りたいと思いました。

家庭や学校だけでなく、地域に出かけてエコを呼びかけることができました。これからも、食べ残しをしないなど身近なエコを心がけたいと思いました。

道の駅での取材で、「福光の環境は守られている」と答えてくださった方がたくさんいてうれしかったです。これからも「エコ守り隊」として、福光の環境を守っていきます。

おいしいものを作ろう

発表の様子

総合的な学習の時間「なのはな」で、地域の米作りや干柿作りについて調べたり、体験したりしました。また、学校農園で実際に野菜を育て、収穫したものを調理しました。地域の特色を生かした食料生産について学んできた成果を発表しました。



野菜を育てる体験や米作り体験を通して、食料生産の大変さを学びました。そして、その大変さがあるからこそ、収穫する喜びや食べる喜びを感じることができました。地域の方々に教えていただいたり、友達と助け合ったりしたことで、喜びも大きなものになりました。昔から地域で大切にされてきた「**結**」の精神につながるものだと気付きました。

私たちは、食料生産の学習を通して、

- ・食料生産に携わる方々の努力
- ・食料を生産することの苦労
- ・食料を生産することで味わう喜び
- ・協力して食料を生産する楽しさ

など、大切なことを学びました。

「結」の精神とともに、私たちの地域で昔から受け継がれてきた「おいしいものを作る」人々の思いや技術、文化を大切にして、よりよいふるさとをつくっていきたいと思います。



参加者の感想・振り返り・気づき等

自分たちの取組をたくさんの人に伝えることができて楽しかったです。真剣に聞いてくれたり、質問したりしてくださって、自分たちの思いを受け止めてもらえるうれしさも味わいました。

来てくださった方々に自分たちが作った干柿を食べてもらいたかったです。

他の小学校や中学校の発表を聞いて、自分たちと同じように、ふるさとを大事にしている仲間がたくさんいることを知りました。

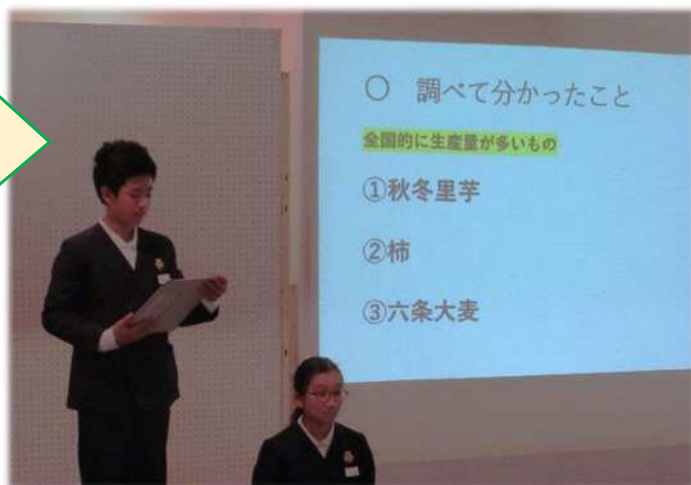
「幸せ」って何だろう～南砺人の幸福度～

発表の様子



南砺市にある公園の数があまり多いとはいえず、増やすことも難しい現状も踏まえて、今ある公園をより魅力的にするための遊具を設置したり、イベントを行ったりなどの取組をするべきだと考えました。そうすれば、家族連れが南砺市に足を運んでくれるのではないかと思います。

南砺市には生産がさかんな食材はあっても知らない人が多いことを踏まえて、スイーツやグルメを考案し、より多くの人に南砺市の食材を知ってほしいと考えました。また、それらを求めて若い人をはじめとする多くの人々が南砺市に足を運んでほしいと思います。



参加者の感想・振り返り・気づき等

南砺市にある公園のことについて調べると南砺市は今ある公園を維持するために修復や耐震工事を行っていることを知りました。

わたしたちにもできることはなにか考えた時に、公園の魅力を多くの人に広めていくことが大切だと思いました。

南砺市で有名な食材について調べた時に自分の知らない食材がたくさんありました。

南砺市の有名な食材を新たに知ることを通して、南砺市に対する興味、関心を高めることができました。

椿で、地域を元気にしよう

発表の様子

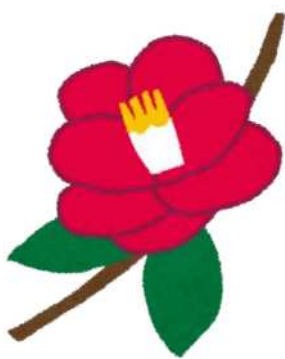


【アピールタイム】

1年の種から9年の鉢までの椿学習や伊豆大島への親善大使、5・6年の総合的な学習の時間のことについて発表しました。

【発表タイム】

3つの栽培方法や伊豆大島での**椿染め体験**などについて、実物を見せて説明しました。



参加者の感想・振り返り・気づき等

椿について調べたことで、たくさんを知りました。

南砺つばき学舎をたくさんの椿が咲いている学校にしたいです。

椿のことを語りつないでいき、地域の思いを大切にし、椿を生かして地域を元気にしていきたいです。

利賀を見つめる ～利賀の魅力を紹介しよう～

発表の様子

前期課程（5・6年生）は
武蔵野市との交流について、
後期課程（9年生）は利賀の
食文化について発表しました。



利賀村と武蔵野市との交流は
50年も続いています。武蔵野市
で「うど」が栽培されているこ
とに驚きました。

利賀ではメジャーな
「**白爵かぼちゃ**」を使ったケー
キとタルトを授業で試作しまし
た。特産品化され、多くの人に
食べてもらえるとうれしいです。



参加者の感想・振り返り・気づき等



利賀のよさや武蔵野市と
の交流について、多くの
人に知ってもらえてうれ
しかったです。

中1と中2での学びを生
かすことができました。
利賀を見つめ直すよい
機会になりました。



井波のよさを再発見

発表の様子

「井波のよさを再発見」を掲げ、様々な分野から井波について調べ、私たち中学生に何ができるかを考え、発表しました。

【アピールタイム】

発表内容の概要を紹介しました。

「井波地域で南砺市外から来られた方が、開業したお店はどれでしょう」というクイズを出して、発表内容への関心を高めました。



【発表】

木彫刻やよいやさ祭り等の伝統から、近年オープンしたお店まで、幅広く調査しました。

その中で井波は昔から新しいものを取り入れ、伝統として根付かせていくことを循環させていると気付きました。新しいものを根付かせるために、「私たち中学生は、井波を盛り上げるために人との縁を大切にし、できることを積極的に行っていきます」と締めくくりました。

参加者の感想・振り返り・気づき等

全学年の総合的な学びの時間の成果をまとめ、発表するために、内容を検討したり、原稿を見なくても話ができるまで練習したりすることは、大変でしたが、自分たちの発表をたくさんの人に聞いてもらえてとても嬉しかったです。

この発表に向けて、井波地域の多くの方にインタビューし、直接思いを聞いたことで、今の地域の現状や課題について自分事として深く考えることができました。

地域に生きる～なんとSDGsへの提言～

発表の様子

城端線の利用状況や乗車人数の多い時間帯を調べ、**なんバス**を含めてより利用しやすい公共交通機関のあり方を考えました。そうすることで、より住みやすい・選ばれる地域につながっていくのではないかと考えました。



南砺市の人口減少を改善するため、移住者への補助金を給付する提言を考えました。また、移住するだけでなく、定住につながるように、南砺市の魅力である**自然環境を生かしたイベントや活動**を考えました。

参加者の感想・振り返り・気づき等

市の現状を知り、そこから持続可能な形でできることを考え、将来につながる提言を考えました。

人任せでなく、自分たちが主役となって行動していくことが大切だと思いました。

交通が活性化することで、訪れる人が増えてくれるといいけれど、大切なのは訪れたい魅力ある地域を自分たちがどのようにつくっていくかが重要だと感じました。

五箇山地域の伝統文化を知り、 継承しよう

発表の様子



平中学校では毎週、**五箇山の民謡**を学び、唄や踊り、演奏の稽古をする時間があります。稽古は地域の方を講師に招いて、教わっています。

民謡アンバサダーを設置し、五箇山の民謡をPRして認知度を上げていけば、観光客や移住者が増え、民謡の後継者が増えると考えました。



参加者の感想・振り返り・気づき等

今回のイベントで五箇山の民謡を多くの人に知ってもらえたことができたと思います。

民謡そのものの発表だけではなく、自分たちが学んでいることをいろいろな形で伝えていくことが大切だと感じました。

南砺市のために私たちができること

発表の様子



私たちが生まれ育った南砺市をこれからも守り、伝承していくために私たちができることは何か、3学年102名でグループに分かれて考えました。

環境グループでは、家庭でもできる**水のろ過装置**を作ったり、市街の氷見・伏木の海岸や南砺市の利賀・平地域に行って南砺市の**草木や生き物**、**ゴミの問題**について調べたり、私たちができる環境保全の仕方について考えました。

ものづくりグループでは、砺波工業高校と連携して3Dプリンタを使っ
ての文房具スタンド製作をしたり、**ミニ行燈**、**ミニロボット**等を製作したりして、ものづくりの技術の伝承について考えました。



参加者の感想・振り返り・気づき等

今回の取組で南砺市の素晴らしさを再発見することができました。しかし、この南砺市をこれからも守っていくためには、私たち一人一人が何らかの形で協力していくことがとても大切だと思いました。

他の小・中学校の発表を見て、発表の仕方の工夫に驚きました。また、発表内容についても、自分たちと同じように南砺市のよさを見付け、伝承していこうと考えていることが分かりました。

共に生きる ～SDGs 南砺市の明日をみつめて～

発表の様子



「なんとSDGsパートナー」として、**貧困、資源、リサイクル**等の視点から、中学生の私たちが南砺市のためにできることを考え、実践しました。
「**牛乳パック回収**」がそのひとつです。



- ・ 貧困の改善のために不要な衣類を寄付する
- ・ 身の回りの資源を無駄にしないために短いチョークや粉を再利用する

等の取組を実践して効果を検証し、誰でもできる取組例として紹介しました。



参加者の感想・振り返り・気づき等

自分たちが周りの人や環境のおかげで幸せを享受していることに気づきました。この感謝の心が貧困の方の支援につながると 생각합니다。

小さな取組でも、大勢の人が継続して行くと大きな成果が生まれると実感しました。紹介した取組を、皆さんもぜひやってみてください。

他校の発表から、まだまだ自分たちが身近にできることがたくさんあると思いました。

共に生きる ～SDGs 私たちにできること～

発表の様子



SDGs 未来都市である「南砺市」に住む一人としてSDGsについて学び、**持続可能な地域社会**を実現するために、自分たちに何ができるかを、人口減少の視点から考えました。

①南砺市の職業調査

②中学生の意識調査

の2つの調査から、私達が将来の夢を実現できる魅力ある職業が南砺市には少ないことが地元を離れる理由の大きな一つの原因だということが分かりました。

「**オンラインを活用して働きやすくするサービスの導入**」により、場所にとらわれずに働ける可能性が広がることや、
「**魅力的な働き方改革**」を進めることで、より多くの人がやりがいをもって働けるようになると考えました。そして、この2つを進めることで、若者の市外への流出を止めることができると考えています。



参加者の感想・振り返り・気づき等

自分の将来の夢を叶えられる場所を増やすためには、働き方や仕事の選択肢を増やすことが大切だと感じました。

南砺市をもっと魅力的な場所にするために、将来自分も何か貢献できることを考えたいと思いました。



KNB「5時間耐久ラジオ」出展（田中市長、松本教育長インタビュー出演）



同ラジオにこどもの権利委員会こども部会メンバー出演、活動PR



こどもの権利講演会 第1部講演会





こどもの権利講演会 第2部トークセッション&ワークショップ
情報交換



教育委員会表彰 一般表彰受賞者の皆さん



教育委員会表彰 特別表彰受賞者の皆さん



高校生プロジェクト
「ボクなん」メンバー



城端さくら保育園のみなさんによる歌と踊り



手作りおもちゃを作ろう！（母子保健推進員連絡協議会）





こどもの権利委員会こども部会コーナー



SDGsコーナー（SDGsを学ぼう！）



福光青葉幼稚園のみなさんによる組体操と踊り



福光東部かがやき保育園のみなさんによる踊り

令和 7 年度 **なんと生涯学習フェス**（仮称） **開催要項（案）** （旧 南砺市社会教育推進大会）

- 1 **趣 旨** 南砺市の教育関係者及び生涯学習関係団体を含む市民が一堂に会し、新しい時代を切り拓く生涯学習のあり方について考える。
市内幼稚園・保育園・認定こども園の園児がステージ発表を披露し、また、市内小中学校・義務教育学校の児童・生徒が、ふるさとに関する総合学習の成果を地域の方々に発表することで、園児や児童・生徒の自己有用感の向上や郷土愛の醸成を図るとともに、子どもたちの成長にふれることで、市民の自ら学ぶ機会と意識のさらなる醸成を図る。
- 2 **主 催** 南砺市教育委員会
- 3 **期 日** 令和 7 年 1 1 月 1 5 日（土）～ 1 1 月 1 6 日（日）
- 4 **会 場** 井波総合文化センター
- 5 **概 要**
 - ・中央図書館による絵本ライブ
 - ・保育園、小・中学校の子どもたちによるステージ発表
 - ・生涯学習講座の作品展示、各種団体の活動報告
 - ・教育委員会表彰
 - ・記念講演会
- 6 **ステージ（1 1 月 1 5 日（土） メモリアホール）**

9 : 30	【午前の部】開場	
10 : 00	絵本ライブ	(60 分)
11 : 00	絵本ライブに関するワークショップ	(30 分)
13 : 00	【午後の部】開場	
13 : 30	挨拶 南砺市教育長	
13 : 35	ステージ発表（10 分×2 園）	(20 分)
	「福光どんぐり保育園」「平みどり・上平・利賀ささゆり保育園合同」	
13 : 55	ふるさとに関する学習発表（10 分×2 校）	(20 分)
	「福野小学校」「井波中学校」	
14 : 20	令和 7 年度 南砺市教育委員会表彰式	(30 分)
	来賓挨拶 南砺市長・南砺市議会議員・県議会議員	
14 : 50	休憩	(10 分)
15 : 00	記念講演	(90 分)
	・講 師 寺田 明日香 氏	
	・演 題 「未定」	
16 : 30	閉会挨拶 社会教育委員長	
	終了	

女子 100 メートルハードルの元日本記録保持者で、元 7 人制女子ラグビー選手。人生でも多くのハードルを超えてきた経験を踏まえ、チャレンジする姿勢や目標を持って進んでいく中で得られる経験、人との繋がりの大切さを伝えたい。
- 7 **展示スペース（1 1 月 1 5 日（土）・1 6 日（日） 10 : 00～16 : 30 エイトホール他）**
 - ・生涯学習講座の作品展示（なんと陶芸講座・いなみ木彫りの講座）
 - ・各種団体の活動報告（市民大学講座・緑の里講座・子ども体験・生涯学習連絡協議会・青少年育成南砺市民会議・ガールスカウト）、男女共同参画推進員南砺市連絡会啓発活動・高校生プロジェクト「ボクなん」（南砺で暮らしません課）
 - ・ボードゲーム紹介コーナー（展示＋体験）（←15 日（土）14:00～16:00）